

中和・西和広域連携検討促進支援業務報告書

令和5年3月

特定非営利活動法人リデザインマネジメント研究所

目次

1.本事業の目的	1
(1)【令和4年度事業の目的】	1
(2)【広域連携の目的・ビジョンの再考】	1
(3)【長期ビジョンとクイックウイン】	1
(4)【相互利用と共同設置・管理の関係性】	2
2.対象施設の過去分利用データの整理.....	3
(1)【収集データの整理】	3
(2)【データ収集後の所感と今後の見通し】	4
3.実証実験の実績データについて	5
(1)【過去データの利用実績と実証実験実績データの比較】	5
(2)【対象施設全体の相互利用の割合】	7
(3)【相互利用の割合変化】	10
(4)【e 古都ならの活用と利用実績に対する考察】	18
(5)【今後のデータ分析方針】	18
4.広域連携事業に関する認知アンケートについて.....	19
(1)【単純集計結果】	19
(2)【王寺町及びその他6市町での比較】	22
(3)【クロス集計結果】	25
5.今後の運営体制等の具体的プランの検討	27
(1)【データの分析・収集】	27
(2)【相互利用の周知・広報活動】	28
(3)【アンケート調査】	28
(4)【e 古都ならの活用】	28
(5)【利用料金や予約優先度の考え方】	28
(6)【各市町の管理計画や整備計画との関係】	29
6.まとめ	30
7.参考資料.....	31

1. 本事業の目的

(1) 【令和4年度事業の目的】

本事業では相互利用の実証実験に当たり、対象施設の利用状況等について、整理・分析及び今後の運営体制等の具体的なプラン検討を行うとともに、予約方法が統一化されていないことから、併せて、予約方法のデジタル化検討を行うため、奈良電子自治体共同システムである「e 古都なら」の活用等を行うことを目的とする。

(2) 【広域連携の目的・ビジョンの再考】

奈良県中和・西和地域の和高田市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町及び河合町（以下「7市町」という。）では、令和2年度に総務省自治行政局市町村課所管の「新たな広域連携促進事業」を活用し、公共施設の共同利用等の検討を本格化させてきた。「新たな広域連携」では、地方公共団体間での経営資源（人材、施設及びインフラ等）等の共同活用など、地域全体として持続可能な行政体制の確保に向けて積極的に挑戦するものである。

(3) 【長期ビジョンとクイックウィン】

大枠での広域連携における目的・ビジョンは前述のとおりだが、令和4年度は7市町での協定締結、体育・文化施設の相互利用の実証実験と新たな広域連携のアクションフェイズに差し掛かっていることから、その具体的な目標を再考したい。

現時点での広域連携の将来的な目標は公共施設の共同設置・共同管理であると考えている。今後も大幅な税収増が見込めない限られた財源の中で、公共施設・インフラの維持管理や更新、ハード以外にも増加し続ける扶助費、その他公共サービスを提供するための行政体制を整えなければならない。このような状況を鑑みると、将来にわたって7市町がそれぞれ単独で「大きなハコモノ」を維持し続けることは難しいと考えられる。ただし、共同設置・管理の実現は、早くても10年から20年程度の中長期的な到達目標である。これを実現するために短期でのクイックウインを獲得し、場合によっては効果測定の過程で共同設置・管理以外の目標を再設定する必要があるかもしれないことを含め、都度目標到達状況を把握することが重要である。

長期目標である、「公共施設の共同設置・管理」は従来の市町域を越えた施設整備及び運営となるため、単独整備・運営よりも行政・住民の両者ともにメリットが高く将来を見据えた長い時間軸で効果的であることを示す必要がある。また、現在進めている施設の相互利用の成果がどのように共同設置・管理に繋がっていくかについての議論が明確に定まっていない。そこでまずは相互利用と共同設置・管理の関係性を整理し、これに基づいた今後の方向性を考えたい。

(4) 【相互利用と共同設置・管理の関係性】

令和2年度の総務省事業では、「施設の老朽化及び人口減少問題等を踏まえ、今後予想される厳しい財政状況の中、多様性を増す住民ニーズに対応していくことが求められている。特に利用頻度が低い総合体育館や文化施設（ホール）などの「大きなハコモノ」は財政負担が大きく、今後の住民ニーズに見合う再整備が難しい。そこで奈良県と奈良県中部の3市4町の総合体育館と文化施設（ホール）を対象に、広域連携の仕組みを構築するための与条件を整理する。」ことを目的に、まずはこれまで各自治体が整備してきた「大きなハコモノ」の活用・統合による広域連携により、利便性の向上、利用機会の創出などの住民サービスの向上、さらに施設の共同管理(共同設置)による運営効率の向上及び施設管理の品質向上を目指すために、施設共同利用（総務省申請書の中では共同利用と記載されていたが、以降相互利用という。）の仕組み構築に必要な与条件の整理を行うことから始めた。

始めに相互利用を開始するとした理由としては、これが進展していくことで、7市町が所有する施設の利用状況は自然淘汰的に差が広がり、廃止や統合、共同設置といった施策の基礎資料として活用できると考えられたためである。また、共同設置までの期間では、利用者は立地や利用目的、設備の善し悪し、利用料金等を考慮して市町域を越えて施設選択が可能になるというメリットもある。

本事業の大前提の考え方として、「今後も厳しい状況が続くと予測される行財政状況や少子高齢化の現状のなか、単独自治体で大きなハコモノを整備・維持し続けることが難しい」というものがあるが、これは公共施設を管理する行政側の視点発信である。7市町圏域は全国の中核市と広さ・人口から考えても同等レベルであることから、広域での共同設置に伴う施設廃止によって総量が減少しても住民サービスは維持しつつ財政負担も軽減できるという考え方ができる。しかし、現実的には今まであった施設が少なくなるので、利用者視点としてはサービス低下と捉えられる可能性が充分にある。

利用者にとっては、相互利用が将来的な施設縮小に繋がるものであるとするならば、そのメリットは現在の一時的なものに過ぎない。しかしながら、相互利用によるデータを基礎資料とするのであれば、ある程度の期間を要するため今後も継続していく必要がある。そこで、以下に今後の方針案を示したい。

- ・料金負担等の条件整理をしたうえで、実証実験から常時相互利用が可能になるよう協定を締結
- ・広域連携の目指す到達点を利用者（住民）と共有する、公開する
- ・相互利用のメリットのみならず、共同設置を含めた将来メリットも示す

ここで考えられる利用者にとっての共同設置のメリットとしては、設備の充実や施設減少による将来維持管理費の減少分を利用料金に反映する等が一例としてあるが、詳細は次年度以降の広域検討会でも議論されたい。以上の点を踏まえて第4章では今後の具体的な運営体制等の具体的なプラン検討を行う。

2. 対象施設の過去分利用データの整理

7 市町の広域連携相互利用実証実験に関する協定締結前であっても、実態としては一部既に相互利用がなされていると考えられる。このことから、過去の施設予約申請者もしくは代表者、団体の住所地を含む利用者属性データと利用実績データを収集し、実証実験開始前の相互利用状況を確認する。

(1) 【収集データの整理】

新型コロナウイルスの影響による行動自粛や施設利用制限の影響を考慮して、過去 5 年間分のデータ収集を行うこととし、収集データの項目は下記のとおりとした。

①利用日（利用件数） ②申請者住所 ③利用人数 ④施設使用料 ⑤付帯設備利用料 ⑥団体区分
⑦減免区分 ⑧減免料 ⑨室別利用件数 ⑩登録団体情報

本報告書内で行う相互利用の割合変化の分析には①及び②を使用するため、これらのデータ収集状況について以下のとおり整理した。

表 1.①及び②データの収集・整理結果

施設名	H29	H30	R1	R2	R3
大和高田市総合体育館（メインアリーナ、サブアリーナ）	×	×	×	×	○
	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>	
大和高田市武道館（第一、第二道場）	×	×	×	×	○
	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>	
香芝市ふたかみ文化センター	×	×	○	○	○
	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>			
葛城市民体育館	△	△	△	△	△
葛城市當麻スポーツセンター	×	△	△	△	△
	<small>（元データなし）</small>				
葛城市新庄文化会館	○	○	○	○	○
葛城市當麻文化会館	○	○	○	○	○
葛城市歴史博物館	○	○	○	○	○
上牧第一町民体育館	×	×	×	×	×
	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>
上牧第二町民体育館	×	×	△	×	×
	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>
上牧町文化センター	×	×	×	×	×
	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>
王寺町地域交流センター	○	○	○	○	○
王寺町防災コミュニティセンター （いずみスクエア）	×	×	○	○	○
	<small>（元データなし）</small>	<small>（元データなし）</small>			
王寺町やわらぎ会館	○	○	○	○	○
王寺町文化福祉センター	○	○	○	○	○
広陵中央体育館	△	△	△	△	△
	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>
広陵東体育館	△	△	△	△	△
	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>
広陵西体育館	△	△	△	△	△
	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>
広陵北体育館	△	△	△	△	△
	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>
真美ヶ丘体育館	△	△	△	△	△
	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>
広陵中央公民館	△	△	△	△	△
	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>	<small>（住所データなし）</small>
河合町立北体育館	△	△	△	△	△

○：データ有 △：一部のみデータ有 ×：大元のデータもしくは住所データ等がないため使用不可

P3表1のとおり整理すると、令和3年度の利用実績データの収集状況が最も良く、22施設中10施設については相互利用の割合を算出できる結果となった。△や×と判定した理由は以下のものがあげられる。

- ・利用日、利用件数のデータは存在するが、住所データがない
- ・数年前のデータが記録されていない（保存期間終了などが要因）
- ・特定の月のデータしか抽出されておらず、年間利用件数から一月あたりに割戻す際に差異が生じる
- ・各施設で管理している台帳からの抽出のため、データ収集が一部のみであると思われる

(2)【データ収集後の所感と今後の見通し】

各市町から収集したデータを確認した結果から現状と今後の対策を考えたい。データ活用による分析は、ある課題を解決するための仮説を立て、その検証のために測定手法と分析手法を定め、データ収集を行い、効果測定・検証という流れが一般的である。このことから、事前に測りたいものを設定していない場合は、真に必要なデータが存在せず、似たような入手可能データで近しい類推で検証を行うことになる。

今回の場合の一例を考える。相互利用実証実験前と後では他市町利用者が増えたかどうかを検証するためには、予約管理簿や台帳の個人利用者の住所、団体の所在地などの情報が必要である。しかし、実証実験以前では、個人情報観点やある自治体にとっては必要性の低い項目であること、あるいは管理データの簡易化などから収集していなかった施設が結果としていくつかあった。また、収集した利用データの個数もそれぞれの施設での管理様式から別フォーマットへの抽出であったため、その正確性も断言できない。

まとめとして、現在収集しているデータは何に使用するものなのか、何を示すためのエビデンスとなるのか等のデータの棚卸しをされたい。上長、首長への報告のために必要なのか、維持管理のために必要なのか、政策立案のために使用するのかなどデータの使い道を示しておくことで広域での相互利用のみならず、各市町でのデータ活用が意義あるものになると考えられる。今回は前後での全体比較が難しいことから、次年度以降も相互利用の実証実験は継続し、引き続きデータの蓄積が必要となると考える。なお、収集した①、②から算出する相互利用の割合については、第3章で実証実験期間の実績データとの比較の際に用いる。その際、最も収集状況が良かった令和3年度のデータを使用することとする。また、③～⑩のデータの使用方法については第3章にて後述する。

3. 実証実験の実績データについて

令和4年10月1日（土）から開始された実証実験について、6か月経過現在の実績データについてまとめを行う。以下、各施設及び対象全施設で集計・分析を行う。

表2.予約申請数及び内訳

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総利用人数（人）	30,532	37,054	32,165	46,629	52,971	38,054	237,405
申請数（件）	595	296	261	557	1,409	610	3,728
当月申請（件）	147	100	87	177	160	182	853
内、施設所在	139	94	79	173	149	167	801
内、7市町	8	6	5	4	6	9	38
内、その他	0	0	3	0	5	6	14
別月申請	448	196	174	380	1,249	428	2,875
内、施設所在	445	194	172	334	1,185	420	2,750
内、7市町	0	0	2	26	13	2	43
内、その他	3	2	0	20	51	6	82
1申請当たりの利用者数（人）	51	125	123	84	38	62	483
新規e古都ならID発行件数（件）	6	8	11	14	13	1	53

	窓口	e古都なら	合計
申請者（内訳）（件）	3,698	30	3,728

(1) 【過去データの利用実績と実証実験実績データの比較】

第2章で整理した過去の利用実績と実証実験期間の実績データを比較する。なお、過去データは年間実績の総数をひと月当たりに割戻した数値を、実証実験実績データは、6か月間の総数をひと月当たりに割戻した数値を用いて、総利用件数と総利用人数を比較する。

表3.ひと月当たりの利用件数・人数の整理

施設名	H29	H30	R1	R2	R3	実証実験
大和高田市総合体育館 （メインアリーナ、サブアリーナ）	-	-	-	-	63件	116件
	-	-	-	-	2493人	3087人
大和高田市武道館 （第一、第二道場）	-	-	-	-	28件	67件
	-	-	-	-	783人	848人
香芝市ふたかみ文化センター	-	-	9件	13件	27件	17件
	-	-	1786人	530人	1003人	1776人
葛城市民体育館	10件	17件	24件	17件	14件	75件
	171人	766人	938人	205人	169人	2497人
葛城市當麻スポーツセンター	-	20件	13件	55件	44件	55件
	-	165人	179人	897人	706人	9400人
葛城市新庄文化会館	6件	7件	7件	3件	5件	5件

施設名	H29	H30	R1	R2	R3	実証 実験
	1634 人	1477 人	1301 人	256 人	320 人	358 人
葛城市當麻文化会館	10 件	11 件	8 件	4 件	3 件	2 件
	1191 人	1230 人	945 人	114 人	130 人	182 人
葛城市歴史博物館	5 件	5 件	4 件	3 件	3 件	4 件
	587 人	573 人	455 人	260 人	242 人	827 人
上牧第一町民体育館	-	-	-	-	-	55 件
	-	-	-	-	-	582 人
上牧第二町民体育館	-	-	47 件	-	-	88 件
	-	-	487 人	-	-	1020 人
上牧町文化センター	-	-	3 件	6 件	7 件	13 件
	-	-	-	306 人	649 人	7877 人
王寺町地域交流センター	18 件	18 件	17 件	5 件	6 件	6 件
	2186 人	2232 人	1821 人	285 人	2158 人	1543 人
王寺町防災コミュニティセンター (いずみスクエア)	-	-	10 件	15 件	17 件	13 件
	-	-	333 人	262 人	348 人	512 人
王寺町やわらぎ会館	6 件	6 件	4 件	2 件	9 件	5 件
	505 人	514 人	368 人	82 人	397 人	345 人
王寺町文化福祉センター	5 件	6 件	5 件	2 件	7 件	8 件
	990 人	1227 人	957 人	260 人	649 人	1211 人
広陵中央体育館	-	119 件	106 件	73 件	106 件	15 件
	-	2004 人	1884 人	1238 人	1813 人	439 人
広陵東体育館	-	87 件	85 件	81 件	107 件	53 件
	-	1427 人	1369 人	986 人	1203 人	1494 人
広陵西体育館	-	98 件	97 件	52 件	106 件	49 件
	-	1318 人	1360 人	591 人	1281 人	1438 人
広陵北体育館	-	65 件	82 件	86 件	115 件	72 件
	-	788 人	1041 人	1004 人	1264 人	2410 人
真美ヶ丘体育館	-	179 件	143 件	113 件	144 件	58 件
	-	2060 人	1995 人	530 人	1624 人	1311 人
広陵中央公民館	28 件	22 件	28 件	15 件	18 件	1 件
	876 人	847 人	905 人	222 人	327 人	85 人
河合町立北体育館	-	-	-	-	-	14 件
	-	-	-	-	-	328 人

- : データなし ※赤字は特定月のデータの数値であり、年間総数から算出した数値ではない

過去データは12ヶ月分の利用実績から算出する数値であることから、実証実験期間の実績データと差異が見られるが、概ねひと月当たりの傾向は同様であるように思われる。実証実験による相互利用で特筆して利用が増加して、既存利用者の利便性が低下しているようなことは本データからは見受けられないことから、現在の規模であれば今後も相互利用を推進しても問題ないと考えられる。

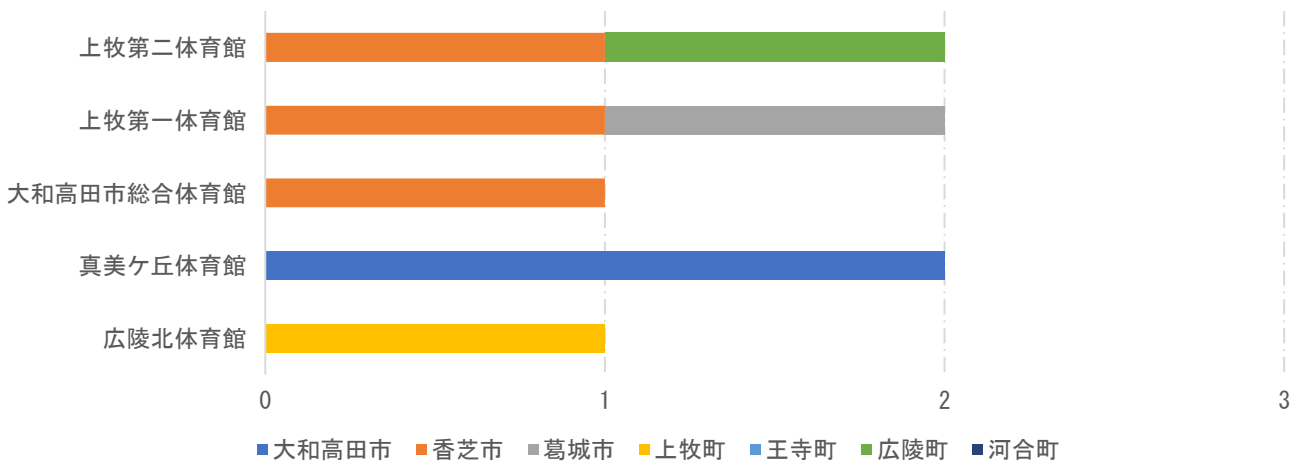
(2) 【対象施設全体の相互利用の割合】

実証実験開始 6 か月時点の 7 市町による相互利用の状況を見る。

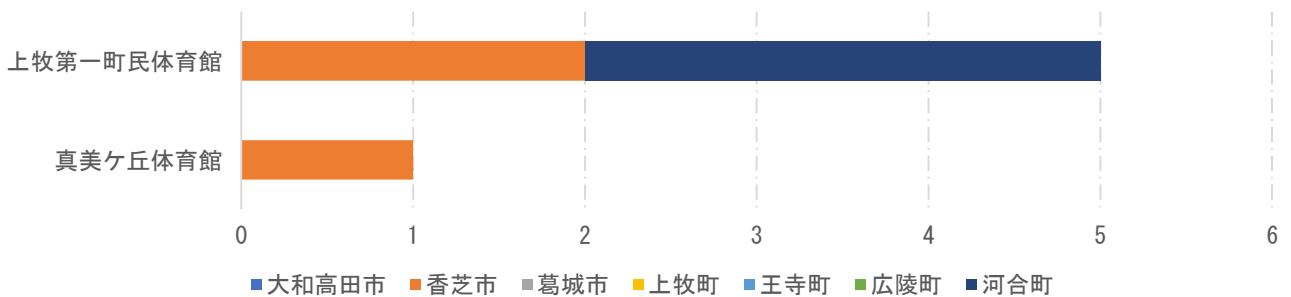
- 10 月 総申請数：595 件 内 7 市町所在：8 件 相互利用割合：1.3%
- 11 月 総申請数：296 件 内 7 市町所在：6 件 相互利用割合：2.0%
- 12 月 総申請数：261 件 内 7 市町所在：7 件 相互利用割合：2.7%
- 1 月 総申請数：557 件 内 7 市町所在：30 件 相互利用割合：5.4%
- 2 月 総申請数：1,409 件 内 7 市町所在：19 件 相互利用割合：1.3%
- 3 月 総申請数：610 件 内 7 市町所在：11 件 相互利用割合：1.8%

また、相互利用内訳は以下のとおりである。

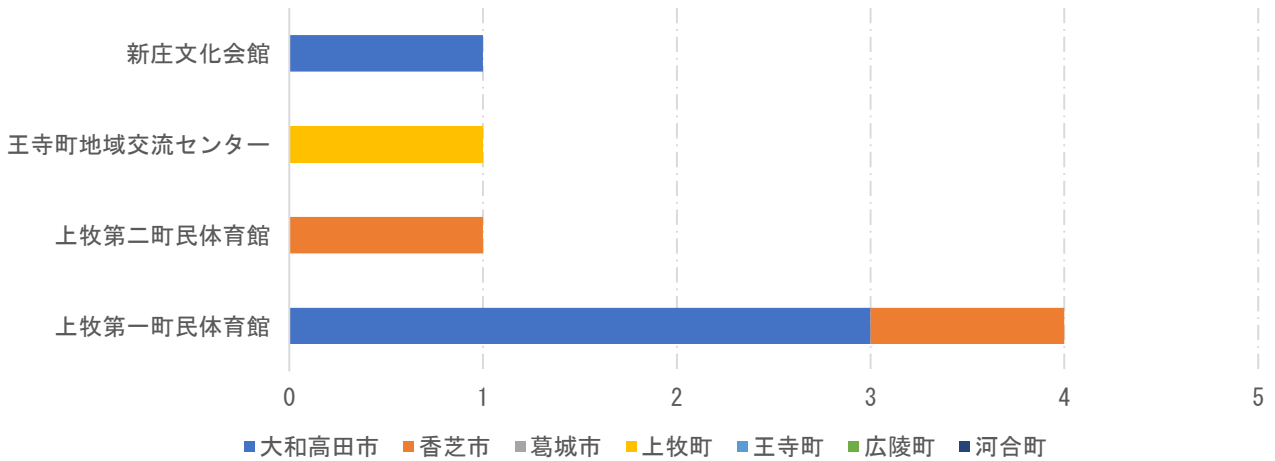
10月相互利用の内訳



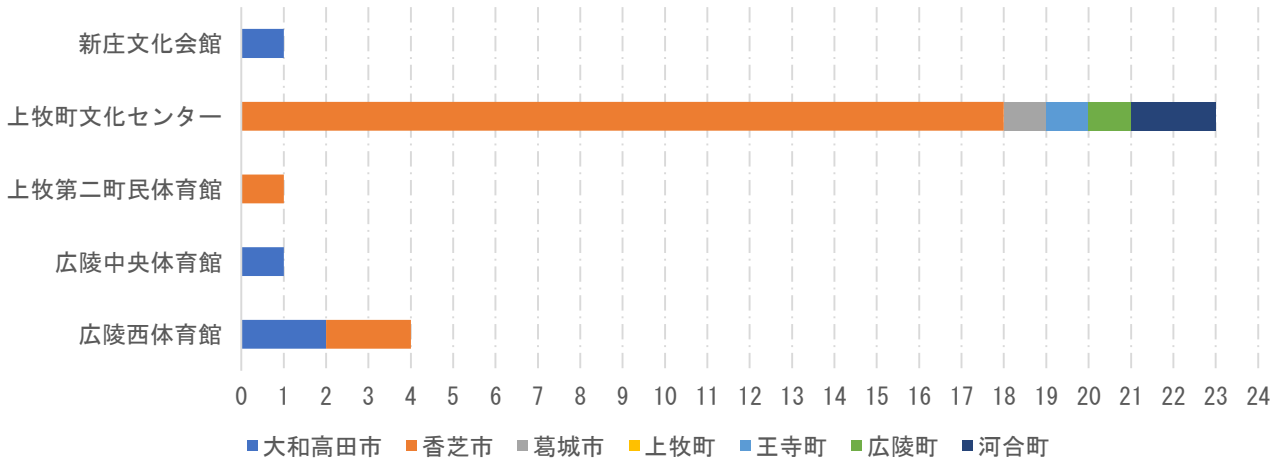
11月相互利用の内訳



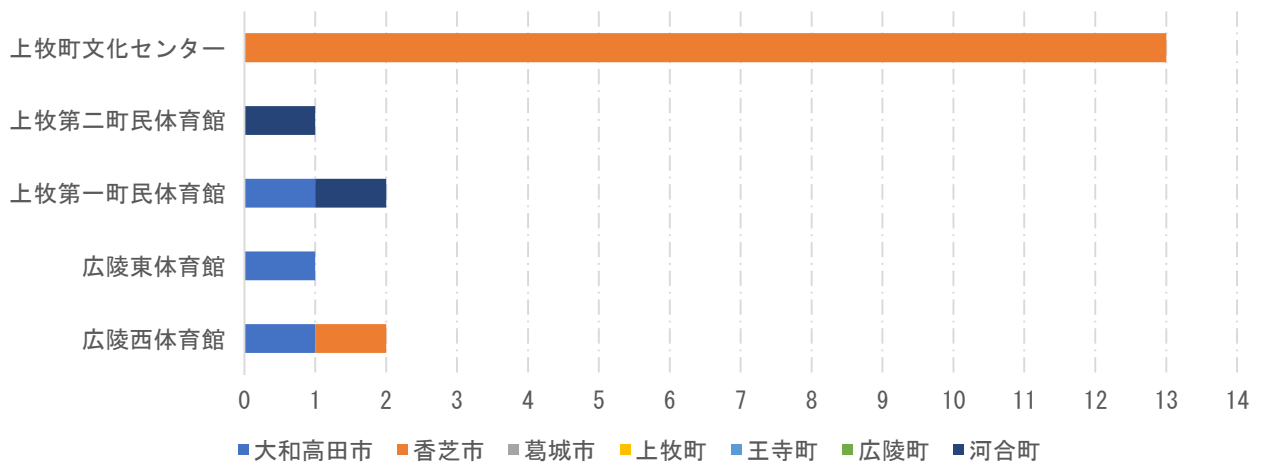
12月相互利用の内訳



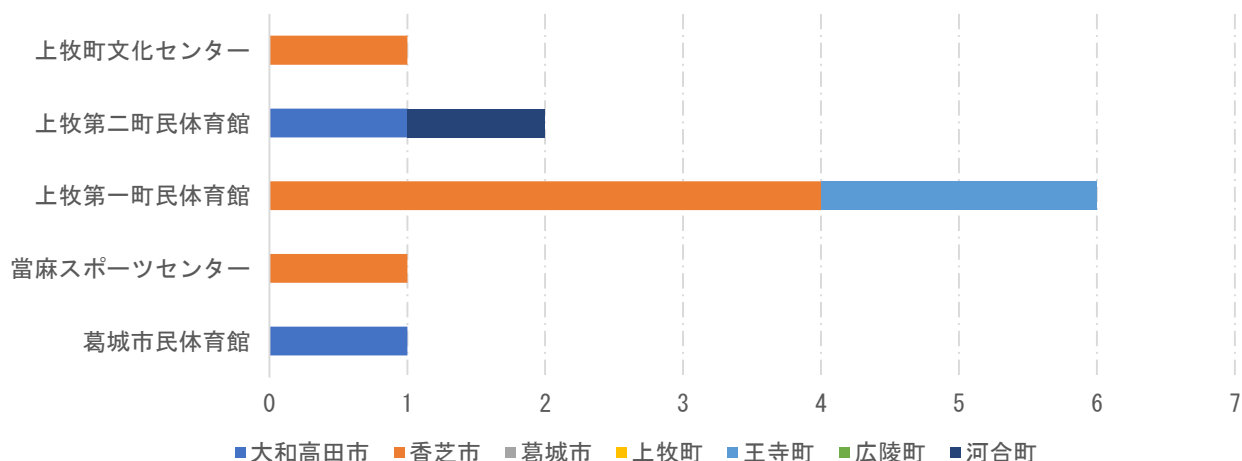
1月相互利用の内訳



2月相互利用の内訳



3月相互利用の内訳



なお相互利用の割合算出の式は次のとおりである。

7市町所在者による月内申請件数／月内総申請件数

平均は6か月間の平均値である。ここで月内の利用件数（利用実績）ではなく申請件数を用いている理由としては、利用実績の中には実証実験開始前に申請予約したものが多数含まれており、正式に実証実験による相互利用が開始された後の数値を測るために、申請件数を用いている。

表 4.実証実験期間の各施設相互利用の割合

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
大和高田市総合体育館 (メインアリーナ、サブアリーナ)	12.5%	0%	0%	0%	0%	0%	2.1%
大和高田市武道館(第一、第二道場)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
香芝市ふたかみ文化センター	-	-	-	0%	0%	0%	0%
葛城市民体育館	0%	0%	0%	0%	0%	2.9%	0.5%
葛城市當麻スポーツセンター	0%	0%	0%	0%	0%	0.5%	0.1%
葛城市新庄文化会館	0%	0%	33.3%	16.7%	0%	0%	8.3%
葛城市當麻文化会館	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
葛城市歴史博物館	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
上牧第一町民体育館	13.3%	62.5%	33.3%	0%	13.3%	22.2%	24.1%
上牧第二町民体育館	22.2%	0%	14.3%	14.3%	9.1%	14.3%	12.4%
上牧町文化センター	0%	0%	0%	22.8%	100%	11.1%	23.4%
王寺町地域交流センター	-	-	50.0%	0%	0%	0%	8.3%
王寺町防災コミュニティセンター (いずみスクエア)	0%	0%	0%	0%	-	0%	0%
王寺町やわらぎ会館	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
王寺町文化福祉センター	-	-	0%	0%	0%	0%	0%
広陵中央体育館	0%	0%	0%	3.4%	0%	0%	0.6%
広陵東体育館	0%	0%	0%	0%	1.3%	0%	0.2%
広陵西体育館	0%	0%	0%	4.8%	3.3%	0%	1.3%
広陵北体育館	1.1%	0%	0%	0%	0%	0%	0.2%
真美ヶ丘体育館	2.5%	2.0%	0%	0%	0%	0%	0.8%
広陵中央公民館	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
河合町立北体育館	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

-: 申請日情報なし 赤字: 月内もしくは月外利用申請日情報のどちらかが不足のため、精度低
※利用件数ではなく、実証実験期間に受付した予約申請件数を参照

(3) 【相互利用の割合変化】

ここで過去データにおいて最も収集状況がよかった令和3年度の年間実績データと6か月間収集した実証実験実績データについて、単位月当たりの相互利用の割合を比較する。なお令和3年度における過去データで、相互利用の割合が算出可能な大和高田市総合体育館、大和高田市武道館、香芝市ふたかみ文化センター、葛城市新庄文化会館、葛城市當麻文化会館、葛城市歴史博物館、王寺町地域交流センター、王寺町防災コミュニティセンター、王寺町やわらぎ会館及び王寺町文化福祉センターを比較することとする。

なお、令和3年度の相互利用の割合算出の式は以下のとおりである。

市町外利用件数／総利用件数

これに合わせて実証実験期間の相互利用の割合算出は以下のとおりである。

市町外申請件数／総申請件数

利用件数と申請件数の比較だが、予約申請はキャンセルがない限り将来の利用件数と同等であること、実証実験による相互利用が開始された後の数値を測りたいことから用いている。

表5.過去データと実証実験実績データとの相互利用割合の比較

施設名	R3 年度	実証実験	変化
大和高田市総合体育館（メインアリーナ、サブアリーナ）	0.3%	1.4%	+1.1%
大和高田市武道館（第一、第二道場）	0.91%	0%	-0.91%
香芝市ふたかみ文化センター	10.9%	0%	-10.9%
葛城市新庄文化会館	3.7%	5.9%	+2.2%
葛城市當麻文化会館	0%	0%	±0%
葛城市歴史博物館	0%	0%	±0%
王寺町地域交流センター	0%	8.3%	+8.3%
王寺町防災コミュニティセンター（いずみスクエア）	1.3%	0%	-1.3%
王寺町やわらぎ会館	0%	0%	±0%
王寺町文化福祉センター	1.3%	0%	-1.3%

各施設で6か月間の相互利用割合の平均を見ると、0%から最も高く10%程度である。ただし、6か月間の7市町所在者からの申請があった施設の多くでは、1~10件程度（ひと月当たりの最も多くて上牧町文化センターの23件）であり、現在の分析精度としては低い状況であるため、今後も継続的なデータ収集を行う必要があると考える。

また、令和3年度と実証実験期間の相互利用の割合を比較して、増加している施設でも+8%程度であるがデータ数が多くないこと、実証実験期間も6か月間という中で利用者への周知が広まりきっていないことを考えると、現段階では「実証実験による正式な相互利用が可能となった。」という事実が増加につながっているかは断言できない。加えて、今後については何の影響により相互利用の割合が高くなったかを測定するために、影響し得ると考えられる変数を複数把握しておく必要があると考える。相互利用が周知され始めたからなのか、ホームページのビュー数が増加したからなのかなど、割合が高くなったという事象を一つの結果だけで示せないからこそ、いくつかの測定可能な変数により観測し、「どうやら確からしい」という精度の高め方の積み重ねが必要である。第5章では測定項目の案を示す。

では、次に実証実験期間の相互利用の割合について、比較的割合が高かった葛城市新庄文化会館、上牧第一町民体育館、第二町民体育館及び上牧町文化センターについて考察したい。仮に現在の相互利用

の割合のままで、相互利用が実証実験ではなく常時相互利用可能な状況となった場合、市町外利用による市内・町内利用が従来と比較して利用しにくくなるのか検討するため、6か月間の利用コマ数と総利用可能コマ数から施設稼働率、月内予約コマ数と月外予約コマ数から月内予約キャパシティを算出することとした。また月内予約キャパシティを明らかにすることで、予約優先順位を設定した相互利用の中でも市町内外から幅広い利用を受入れるポテンシャルを把握できる。

なおここで算出する稼働率は、空間として利用されているかどうかを基準に判定することとする。それにより、半面区分がある施設において全面予約をした場合は、半面のコマも予約されたものとみなして、全面予約×2を予約コマとして換算する。

※月内予約キャパシティ：{1-月内予約申請コマ数／(総利用可能コマ数-月外予約申請コマ数)} ×100

表 6.10 月利用実績コマ数と月内外申請利用コマ数の比較

10月	利用 コマ数	総利用 可能 コマ数	稼働率	月内予 約申請 コマ数	月外予 約申請 コマ数	月内予 約キャ パシテ ィ
大和高田市総合体育館 (メインアリーナ、サブアリーナ)	158	324	48.8%	17	141	90.7%
大和高田市武道館(第一、第二道場)	100	324	30.9%	9	94	96.1%
香芝市ふたかみ文化センター	31	90	34.4%	-	-	-
葛城市民体育館	35	225	15.6%	6	29	96.9%
葛城市當麻スポーツセンター	145	225	64.4%	0	145	100.0%
葛城市新庄文化会館	5	75	6.7%	0	5	100.0%
葛城市當麻文化会館	2	75	2.7%	0	2	100.0%
葛城市歴史博物館	4	75	5.3%	0	4	100.0%
上牧第一町民体育館	100	486	20.6%	19	81	95.3%
上牧第二町民体育館	154	486	31.7%	16	138	95.4%
上牧町文化センター	32	78	41.0%	21	11	68.7%
王寺町地域交流センター	-	-	-	-	-	-
王寺町防災コミュニティセンター (いずみスクエア)	17	81	21.0%	1	2	98.7%
王寺町やわらぎ会館	8	78	10.3%	1	2	98.7%
王寺町文化福祉センター	-	-	-	-	-	-
広陵中央体育館	11	1053	1.0%	11	0	99.0%
広陵東体育館	33	338	9.8%	33	0	90.2%
広陵西体育館	40	338	11.8%	40	0	88.2%
広陵北体育館	26	338	7.7%	26	0	92.3%
真美ヶ丘体育館	39	338	11.5%	39	0	88.5%
広陵中央公民館	0	78	0.0%	0	0	100.0%
河合町立北体育館	53	338	15.7%	53	0	84.3%
- : コマ数情報なし						

11月	利用 コマ数	総利用 可能 コマ数	稼働率	月内予 約申請 コマ数	月外予 約申請 コマ数	月内予 約キャ パシテ ィ
大和高田市総合体育館 (メインアリーナ、サブアリーナ)	146	300	48.7%	0	146	100.0%
大和高田市武道館(第一、第二道場)	85	300	28.3%	9	76	96.0%
香芝市ふたかみ文化センター	22	87	25.3%	-	-	-
葛城市民体育館	96	185	51.9%	4	92	95.7%
葛城市當麻スポーツセンター	129	185	69.7%	3	126	94.9%
葛城市新庄文化会館	7	69	10.1%	0	7	100.0%
葛城市當麻文化会館	5	69	7.2%	0	5	100.0%
葛城市歴史博物館	8	69	11.6%	0	8	100.0%
上牧第一町民体育館	103	468	22.0%	12	91	96.8%
上牧第二町民体育館	150	468	32.1%	4	146	98.8%
上牧町文化センター	23	78	29.5%	6	17	90.2%
王寺町地域交流センター	-	-	-	-	-	-
王寺町防災コミュニティセンター (いずみスクエア)	21	78	26.9%	9	12	86.4%
王寺町やわらぎ会館	31	78	39.7%	2	29	95.9%
王寺町文化福祉センター	-	-	-	-	-	-
広陵中央体育館	91	1014	9.0%	19	72	98.0%
広陵東体育館	153	338	45.3%	32	121	85.3%
広陵西体育館	164	338	48.5%	38	126	82.1%
広陵北体育館	238	338	70.4%	40	198	71.4%
真美ヶ丘体育館	167	338	49.4%	21	146	89.1%
広陵中央公民館	0	78	0.0%	0	0	100.0%
河合町立北体育館	39	338	11.5%	5	34	98.4%
- : コマ数情報なし						

12月	利用 コマ数	総利用 可能 コマ数	稼働率	月内予 約申請 コマ数	月外予 約申請 コマ数	月内予 約キャ パシテ ィ
大和高田市総合体育館 (メインアリーナ、サブアリーナ)	133	252	52.8%	21	112	85.0%
大和高田市武道館(第一、第二道場)	82	252	32.5%	12	70	93.4%
香芝市ふたかみ文化センター	21	78	26.9%	-	-	-
葛城市民体育館	94	198	47.5%	15	79	87.4%
葛城市當麻スポーツセンター	128	198	64.6%	5	123	93.3%
葛城市新庄文化会館	12	63	19.0%	0	12	100.0%
葛城市當麻文化会館	0	63	0.0%	0	0	100.0%
葛城市歴史博物館	5	63	7.9%	0	5	100.0%
上牧第一町民体育館	101	432	23.4%	19	82	94.6%
上牧第二町民体育館	134	432	31.0%	7	127	97.7%
上牧町文化センター	33	66	50.0%	0	33	100.0%
王寺町地域交流センター	30	78	38.5%	0	30	100.0%
王寺町防災コミュニティセンター (いずみスクエア)	33	72	45.8%	3	30	92.9%
王寺町やわらぎ会館	7	72	9.7%	0	7	100.0%
王寺町文化福祉センター	22	69	31.9%	0	22	100.0%
広陵中央体育館	52	897	5.8%	11	41	98.7%
広陵東体育館	103	299	34.4%	21	82	90.3%
広陵西体育館	89	299	29.8%	11	78	95.0%
広陵北体育館	129	299	43.1%	8	121	95.5%
真美ヶ丘体育館	95	299	31.8%	6	89	97.1%
広陵中央公民館	2	69	2.9%	0	2	100.0%
河合町立北体育館	44	286	15.4%	2	42	99.2%
- : コマ数情報なし						

1月	利用 コマ数	総利用 可能 コマ数	稼働率	月内予 約申請 コマ数	月外予 約申請 コマ数	月内予 約キャ パシテ ィ
大和高田市総合体育館 (メインアリーナ、サブアリーナ)	160	288	55.6%	24	136	84.2%
大和高田市武道館(第一、第二道場)	95	288	33.0%	0	95	100.0%
香芝市ふたかみ文化センター	16	78	20.5%	0	16	100.0%
葛城市民体育館	91	189	48.1%	13	78	88.3%
葛城市當麻スポーツセンター	120	189	63.5%	3	117	95.8%
葛城市新庄文化会館	23	63	36.5%	0	23	100.0%
葛城市當麻文化会館	2	63	3.2%	0	2	100.0%
葛城市歴史博物館	11	63	17.5%	10	1	83.9%
上牧第一町民体育館	0	0	0	0	0	-
上牧第二町民体育館	145	432	33.6%	7	138	97.6%
上牧町文化センター	19	66	28.8%	0	19	100.0%
王寺町地域交流センター	12	78	15.4%	0	12	100.0%
王寺町防災コミュニティセンター (いずみスクエア)	31	72	43.1%	2	29	95.3%
王寺町やわらぎ会館	2	72	2.8%	0	2	100.0%
王寺町文化福祉センター	17	72	23.6%	0	17	100.0%
広陵中央体育館	98	897	10.9%	58	40	93.2%
広陵東体育館	127	299	42.5%	51	76	77.1%
広陵西体育館	138	299	46.2%	81	57	66.5%
広陵北体育館	194	299	64.9%	74	120	58.7%
真美ヶ丘体育館	141	299	47.2%	52	89	75.2%
広陵中央公民館	1	69	1.4%	1	0	98.6%
河合町立北体育館	45	299	15.1%	25	20	91.0%
- : コマ数情報なし						

2月	利用 コマ数	総利用 可能 コマ数	稼働率	月内予 約申請 コマ数	月外予 約申請 コマ数	月内予 約キャ パシテ ィ
大和高田市総合体育館 (メインアリーナ、サブアリーナ)	162	288	56.3%	61	101	67.4%
大和高田市武道館(第一、第二道場)	93	288	32.3%	4	89	98.0%
香芝市ふたかみ文化センター	22	81	27.2%	0	22	100.0%
葛城市民体育館	96	178	53.9%	9	87	90.1%
葛城市當麻スポーツセンター	126	172	73.3%	1	112	98.3%
葛城市新庄文化会館	14	66	21.2%	5	9	91.2%
葛城市當麻文化会館	10	66	15.2%	2	8	96.6%
葛城市歴史博物館	12	66	18.2%	0	12	100.0%
上牧第一町民体育館	119	432	27.5%	22	97	93.4%
上牧第二町民体育館	156	432	36.1%	14	73	96.1%
上牧町文化センター	30	72	41.7%	0	30	100.0%
王寺町地域交流センター	11	78	14.1%	0	11	100.0%
王寺町防災コミュニティセンター (いずみスクエア)	17	72	23.6%	-	-	-
王寺町やわらぎ会館	3	72	4.2%	1	2	98.6%
王寺町文化福祉センター	18	72	25.0%	2	16	96.4%
広陵中央体育館	101	936	10.8%	35	66	96.0%
広陵東体育館	168	312	53.8%	52	116	73.5%
広陵西体育館	156	312	50.0%	39	117	80.0%
広陵北体育館	220	312	70.5%	19	201	82.9%
真美ヶ丘体育館	157	312	50.3%	17	140	90.1%
広陵中央公民館	2	72	2.8%	0	2	100.0%
河合町立北体育館	22	312	7.1%	0	22	100.0%
- : コマ数情報なし						

3月	利用 コマ数	総利用 可能 コマ数	稼働率	月内予 約申請 コマ数	月外予 約申請 コマ数	月内予 約キャ パシテ ィ
大和高田市総合体育館 (メインアリーナ、サブアリーナ)	168	312	53.8%	17	151	89.4%
大和高田市武道館(第一、第二道場)	110	312	35.3%	0	110	100.0%
香芝市ふたかみ文化センター	6	81	7.4%	0	6	100.0%
葛城市民体育館	117	225	52.0%	21	96	83.7%
葛城市當麻スポーツセンター	150	225	66.7%	11	139	87.2%
葛城市新庄文化会館	5	75	6.7%	0	5	100.0%
葛城市當麻文化会館	9	75	12.0%	0	9	100.0%
葛城市歴史博物館	4	75	5.3%	0	4	100.0%
上牧第一町民体育館	171	486	35.2%	43	128	88.0%
上牧第二町民体育館	163	486	33.5%	21	142	93.9%
上牧町文化センター	20	81	24.7%	0	20	100.0%
王寺町地域交流センター	0	78	0.0%	0	0	100.0%
王寺町防災コミュニティセンター (いずみスクエア)	28	78	35.9%	4	24	92.6%
王寺町やわらぎ会館	6	81	7.4%	0	6	100.0%
王寺町文化福祉センター	23	78	29.5%	5	18	91.7%
広陵中央体育館	0	1053	0.0%	0	0	100.0%
広陵東体育館	187	351	53.3%	53	134	75.6%
広陵西体育館	146	351	41.6%	37	109	84.7%
広陵北体育館	275	351	78.3%	49	226	60.8%
真美ヶ丘体育館	184	351	52.4%	42	142	79.9%
広陵中央公民館	1	81	1.2%	1	0	98.8%
河合町立北体育館	14	351	4.0%	5	9	98.5%
- : コマ数情報なし						

表 7.利用実績コマ数から算出した稼働率一覧

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月	稼働率 Avg.	予キャ Avg.
大和高田市総合体育館 (メインアリーナ、サブアリーナ)	48.8%	48.7%	52.8%	55.6%	56.3%	53.8%	52.6%	85.5%
大和高田市武道館 (第一、第二道場)	30.9%	28.3%	32.5%	33.0%	32.3%	35.3%	32.0%	96.7%
香芝市ふたかみ文化センター	34.4%	25.3%	26.9%	20.5%	27.2%	7.4%	23.6%	100%
葛城市民体育館	15.6%	51.9%	47.5%	48.1%	53.9%	52.0%	44.8%	91.7%
葛城市當麻スポーツセンター	64.4%	69.7%	64.6%	63.5%	73.3%	66.7%	67.0%	96.4%
葛城市新庄文化会館	6.7%	10.1%	19.0%	36.5%	21.2%	6.7%	16.7%	98.2%
葛城市當麻文化会館	2.7%	7.2%	0.0%	3.2%	15.2%	12.0%	6.7%	99.3%
葛城市歴史博物館	5.3%	11.6%	7.9%	17.5%	18.2%	5.3%	11.0%	96.8%
上牧第一町民体育館	20.6%	22.0%	23.4%	0	27.5%	35.2%	25.7%	95.0%
上牧第二町民体育館	31.7%	32.1%	31.0%	33.6%	36.1%	33.5%	33.0%	96.9%
上牧町文化センター	41.0%	29.5%	50.0%	28.8%	41.7%	24.7%	35.9%	91.8%
王寺町地域交流センター	-	-	38.5%	15.4%	14.1%	0.0%	17.0%	100%
王寺町防災コミュニティセンター (いずみスクエア)	21.0%	26.9%	45.8%	43.1%	23.6%	35.9%	32.7%	93.3%
王寺町やわらぎ会館	10.3%	39.7%	9.7%	2.8%	4.2%	7.4%	12.3%	98.6%
王寺町文化福祉センター	-	-	31.9%	23.6%	25.0%	29.5%	27.5%	74.1%
広陵中央体育館	1.0%	9.0%	5.8%	10.9%	10.8%	0.0%	6.3%	97.0%
広陵東体育館	9.8%	45.3%	34.4%	42.5%	53.8%	53.3%	39.8%	83.3%
広陵西体育館	11.8%	48.5%	29.8%	46.2%	50.0%	41.6%	38.0%	82.4%
広陵北体育館	7.7%	70.4%	43.1%	64.9%	70.5%	78.3%	55.8%	80.2%
真美ヶ丘体育館	11.5%	49.4%	31.8%	47.2%	50.3%	52.4%	40.4%	88.0%
広陵中央公民館	0.0%	0.0%	2.9%	1.4%	2.8%	1.2%	1.4%	99.7%
河合町立北体育館	15.7%	48.7%	15.4%	15.1%	7.1%	4.0%	11.4%	94.6%

- : コマ数情報なし ※1月の上牧第一町民体育館に関しては、壁張替工事により利用無し

改めて、実証実験期間の相互利用の割合が比較的高かった施設について稼働率と月内予約キャパシティを以下に示す。

葛城市新庄文化会館：稼働率 Avg.16.7%、月内予約キャパシティ Avg.98.2%

上牧第一町民体育館：稼働率 Avg.25.7%、月内予約キャパシティ Avg.95.0%

上牧第二町民体育館：稼働率 Avg.33.0%、月内予約キャパシティ Avg.96.9%

上牧町文化センター：稼働率 Avg.35.9%、月内予約キャパシティ Avg.91.8%

稼働率を見ると、月当たりの利用可能コマは十分に存在しているため、町内予約を優先する現在の体制であれば従来利用者の満足度を保ちながら、相互利用による市町外から利用者を受入れることは可能である。また、月内予約キャパシティとは申請実績値から算出した、月内予約ができる残りのコマの中で予約できる可能性を示す。月外予約申請数に影響はされるが、この値が大きければ予約優先度が低い市町外利用者も目的の施設を予約できる可能性が高くなる。上記施設において稼働率がそこまで高くは

ないため、今後も相互利用の割合が 10～25%もしくはそれ以上となったとしても利用者満足度を下げることなく運用は可能だと思われる。

また、上記に挙げた施設以外について、体育施設は概ね 40～70%弱、文化施設では 5～30%弱の稼働率であることから相互利用による市町外からの利用者の受け入れは十分可能である。

(4) 【e 古都ならの活用と利用実績に対する考察】

実証実験では一部を除き、これまで e 古都ならを使用していなかった施設について導入を試みて運用してきた。e 古都ならはシステムの仕様上、利用者側としては利用者登録を窓口にて行うことから始まり、さらに市町外施設を予約するためには施設所在自治体のいずれかの施設窓口で足を運び、施設利用登録を行う必要がある。このように利用開始までに WEB 上のみでは完結しない複数のステップがあるため、本実証実験期間中では e 古都ならによる予約申請数は少なく終わった。次年度以降、相互利用の常時運用前の再度実証実験期間の際には、e 古都ならの登録・利用の勧めをより積極的に行い、本格運用前にある程度の現場対応の機会が必要と考える。

一方で、実証実験期間の e 古都ならを活用した成果も見えてきた。それは複数市町を跨ぎ、統一フォーマットによるデータ収集が容易に手間も少なく行えるようになったことである。現場窓口では従来の台帳での予約管理と e 古都ならへの予約入力という二重の作業となり、事務手間が増えて大変だという声も多いが、分析に使用するデータの収集精度という観点では圧倒的な成果であると言える。2 章で複数市町の各々の施設台帳から過去データを統一して、また分析に使用できる精度で収集することの難しさは把握された。今後は現場窓口の業務負担軽減策も対策して、e 古都ならの活用を続けていくことが望ましいと考えられる。また現在活用していない施設については、web 予約機能は使用しないにしても管理台帳として e 古都ならに移行していくことは検討したいと考えるが、その他の方法についても検討することとする。

(5) 【今後のデータ分析方針】

相互利用の実証実験開始後 6 か月時点では、データ数も少なく、相互利用の割合も低いため今後も継続してデータ収集を行うことが必要である。一定数のデータが集まれば、相互利用の傾向が施設ごとで詳細に見られるようになるため、その傾向が何に影響されているかについては重回帰分析を用いて予測することが可能になる。現状で重回帰分析に必要と思われる変数の例を次に示す。

目的変数：相互利用の割合

説明変数：施設の築年数、利用者の居住地から施設までの距離、体育館（アリーナ部分の面積）、文化ホールの席数、月平均空き（予約可能）コマ数、設備の有無（設備例はエアコンやトイレ、貸出備品などを想定）、利用料金、駐車場の広さ、台数 etc..

なお、第 2 章で示した過去データで収集した③～⑧のデータはこの重回帰分析の説明変数として利用できる。

4. 広域連携事業に関する認知アンケートについて

広域連携事業における公共施設の相互利用実証実験について、認知を含めた今後の相互利用の推進方策に関するアンケートを利用実績データと併せて検証することで、今後の広域連携推進に必要な事項を取りまとめていく。10月から3月までに各市町の対象施設の利用者を対象に実施したアンケート結果を次に示す。

対象期間：令和4年10月1日から令和5年3月31日まで

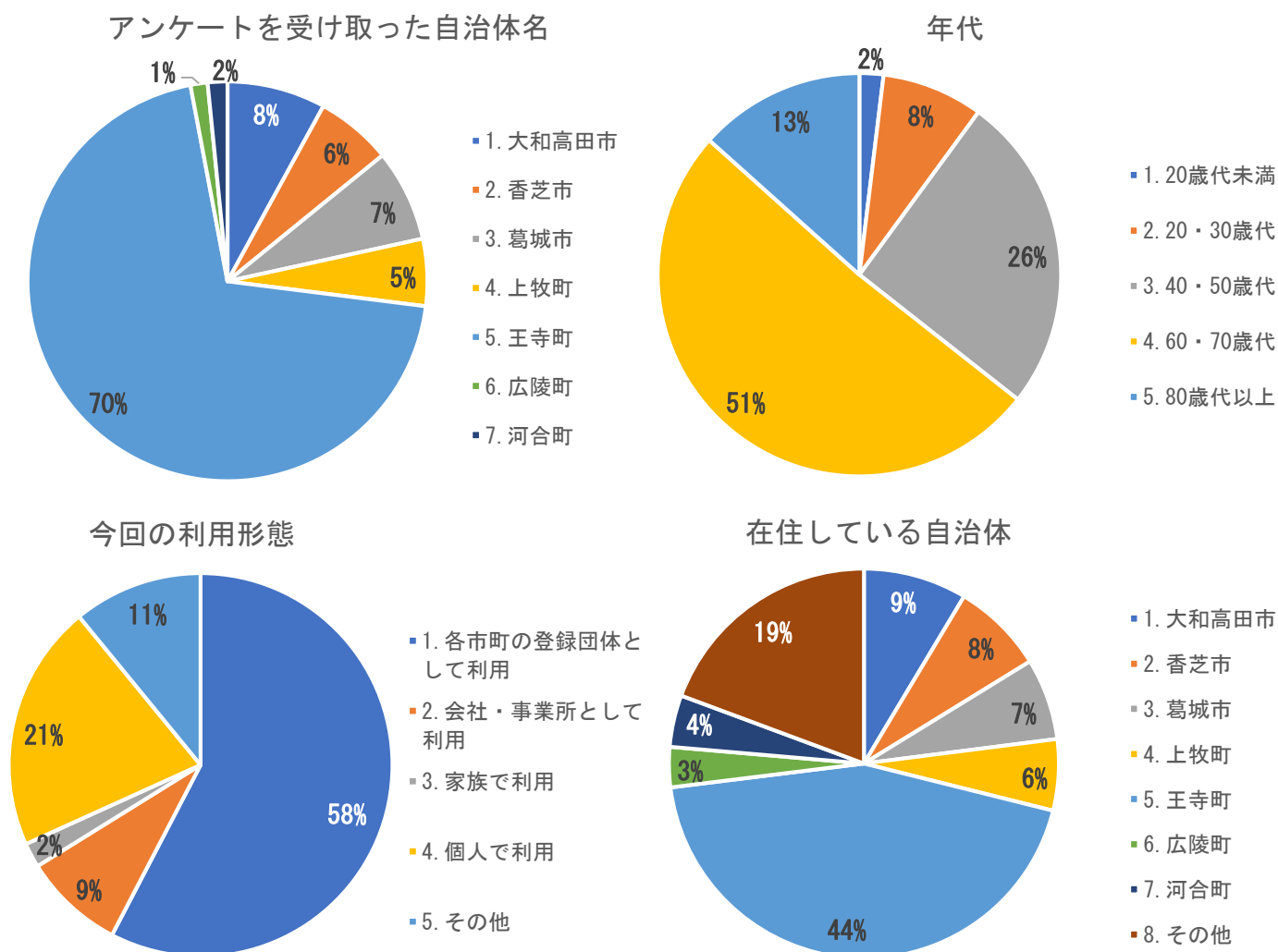
対象者：対象施設利用者及び施設窓口で予約等の手続きをされている者

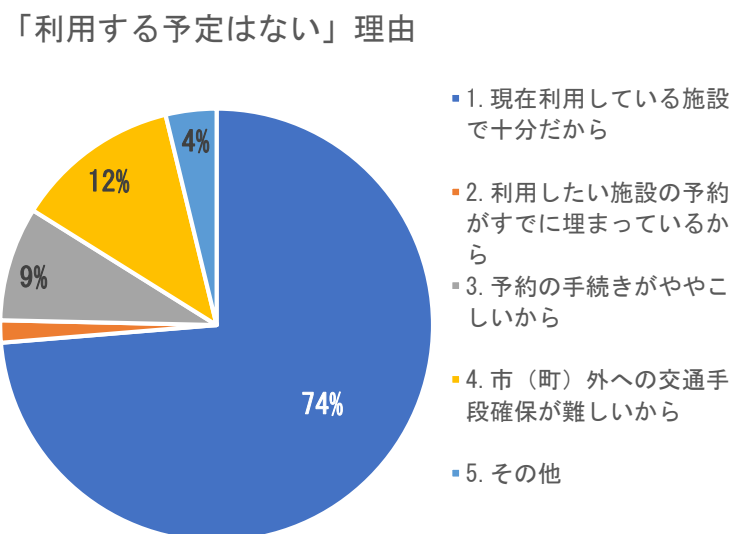
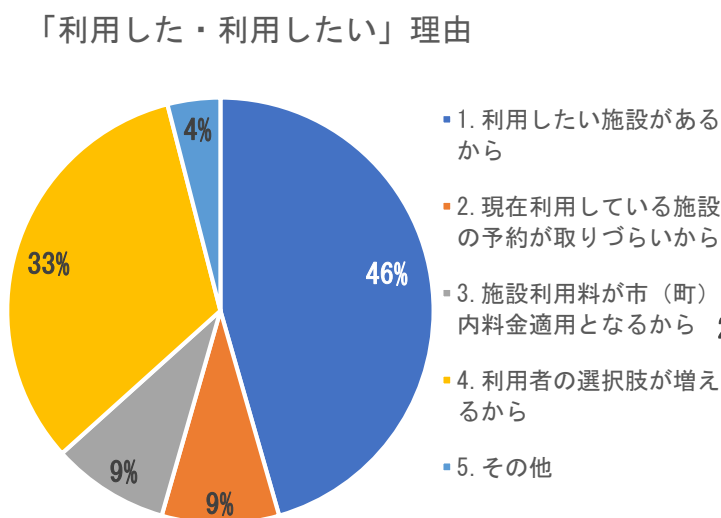
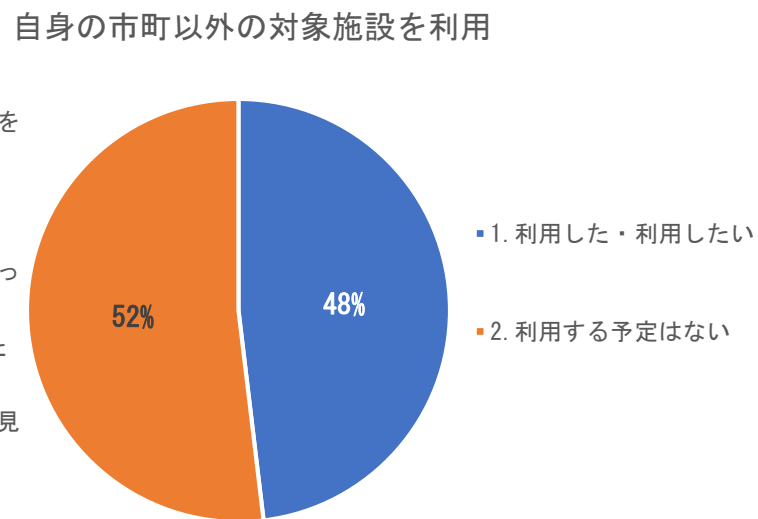
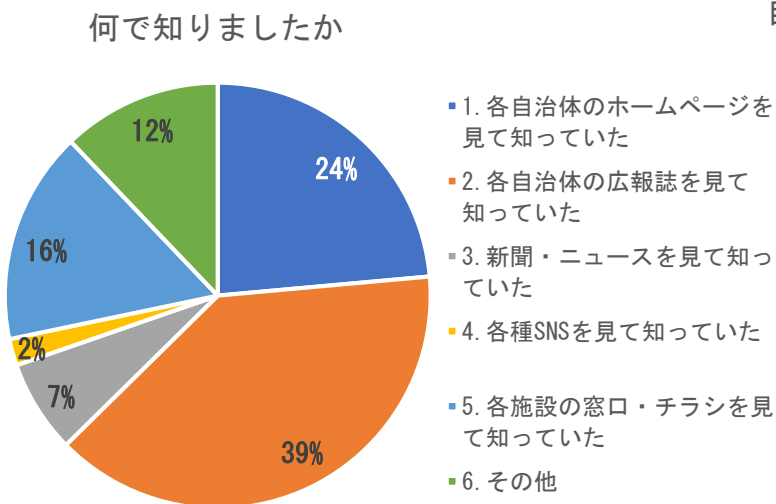
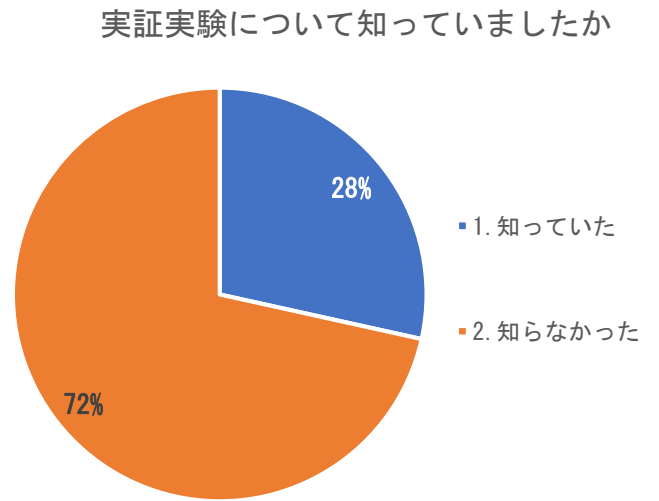
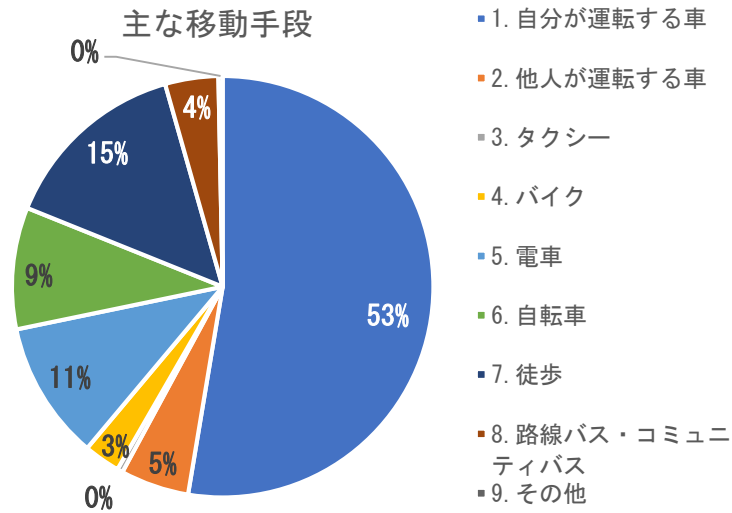
方法：Googleフォーム及びアンケート用紙

回答数：Googleフォーム107件、アンケート用紙834件 計941件

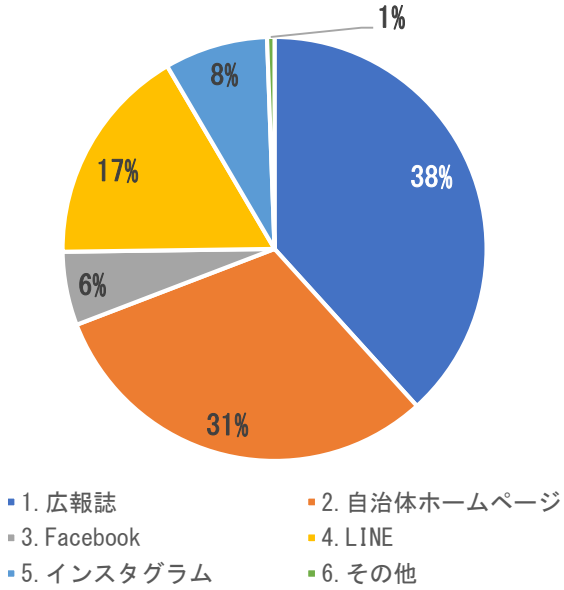
回収内訳：大和高田市75件、香芝市58件、葛城市70件、上牧町51件、王寺町659件、広陵町13件
河合町15件

(1) 【単純集計結果】

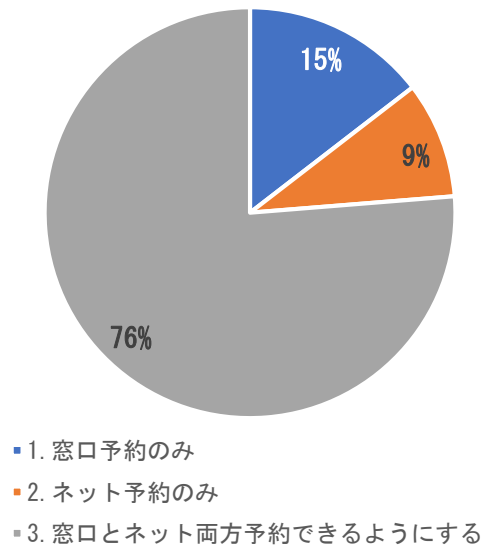




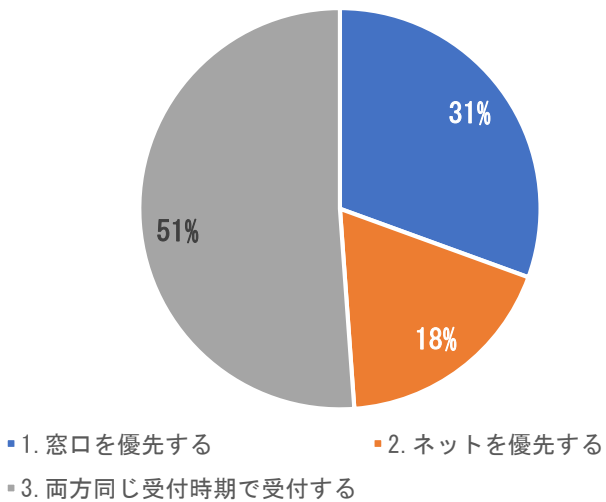
必要だと思う周知媒体



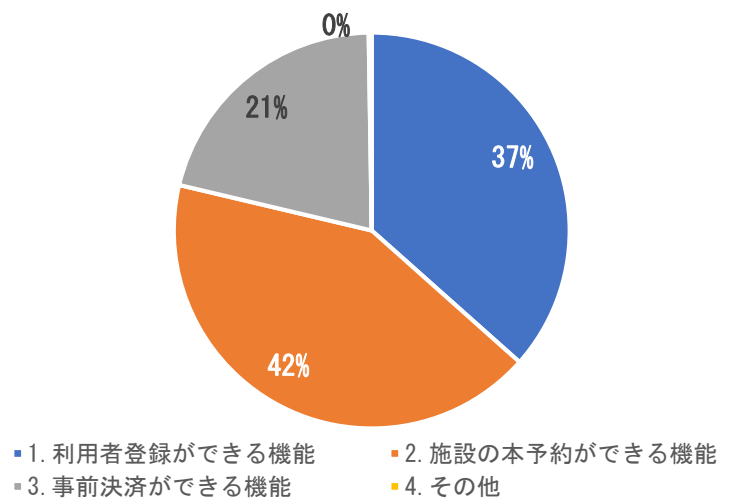
施設予約のあり方



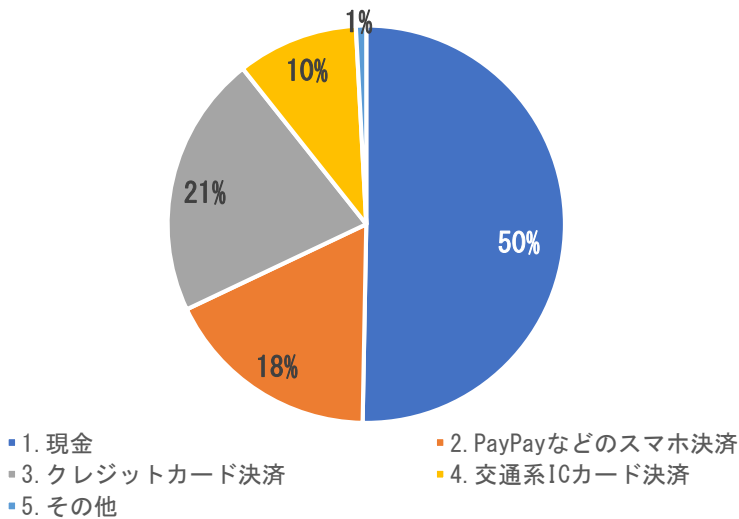
施設予約の方法



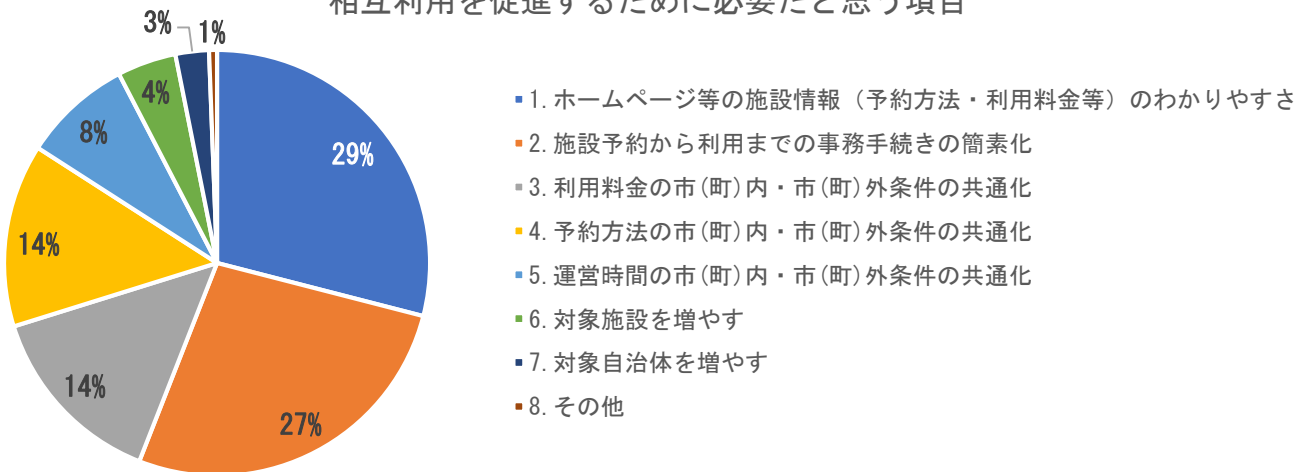
ネットでの施設予約に関連する機能



施設利用料の支払い方法



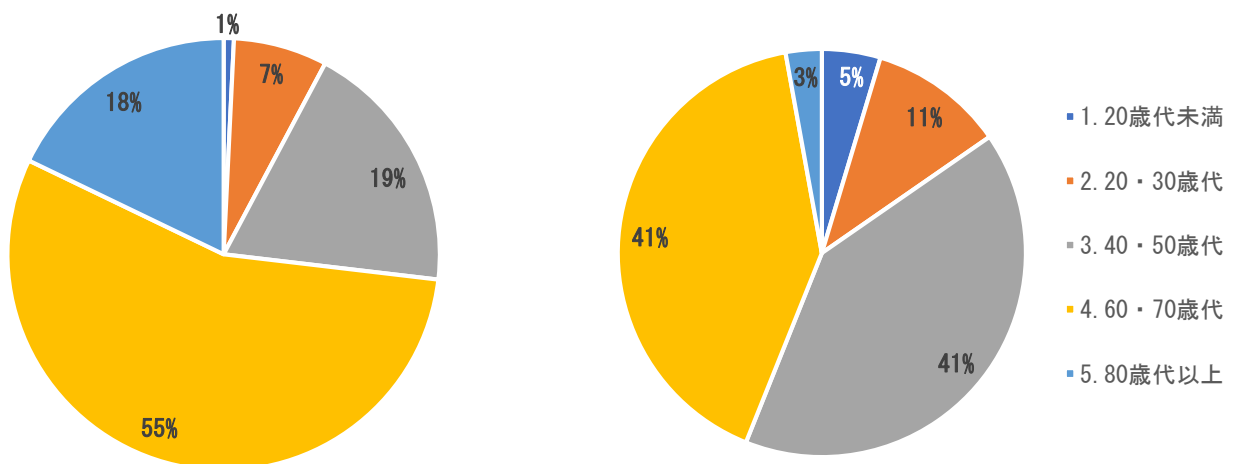
相互利用を促進するために必要だと思う項目



(2) 【王寺町及びその他 6 市町での比較】

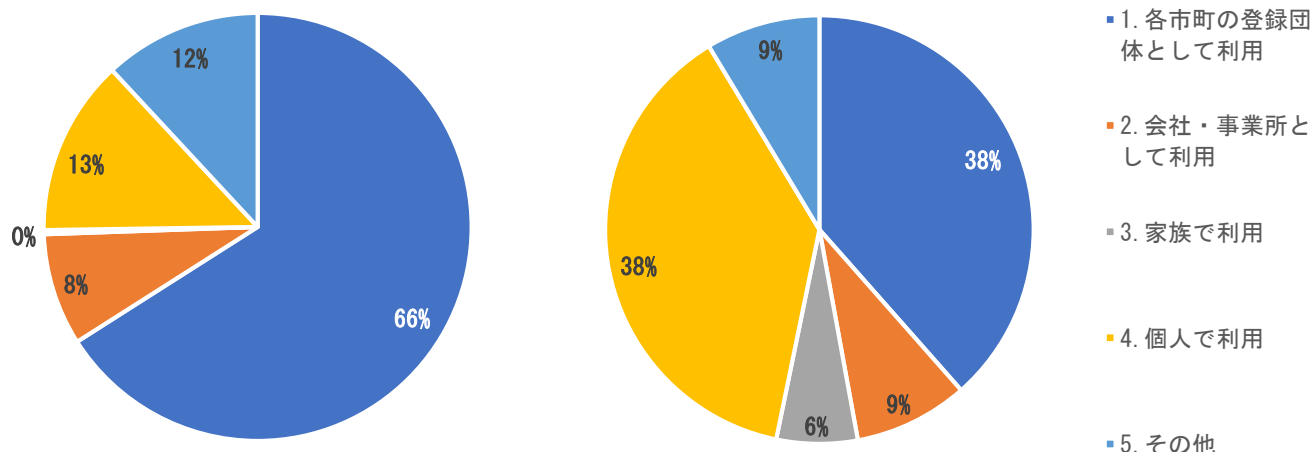
アンケート回収内訳から王寺町 659 件、その他 6 市町 229 件であることから、アンケート結果は王寺町で受け取った回答者の傾向に影響を受けている可能性がある。そこで、各設問について王寺町とその他 6 市町の比較を行う。なお、設問 Q2-1～Q4-1、Q4-4、Q4-5、Q4-6 については大きな傾向の違いは見られないため、省略する。

■年代 ※左：王寺町、右：その他 6 市町



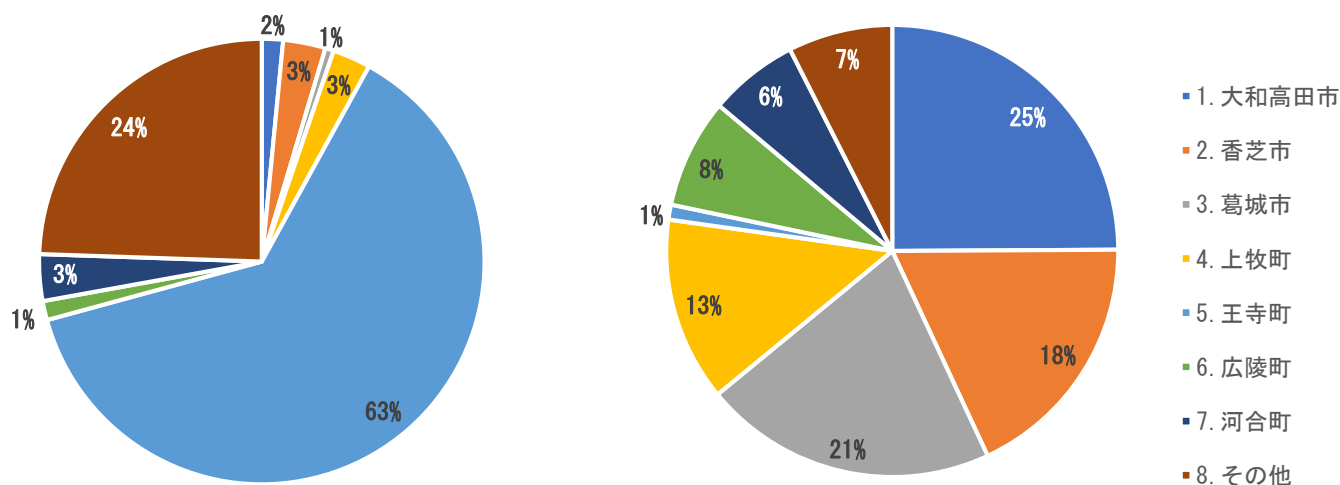
結果の特徴としては、60代以上の利用者割合である。王寺町は73%、その他 6 市町は44%であった。これは、王寺町の対象施設は文化施設のみであり、その他 6 市町には体育施設が含まれていることの影響が予測される。次年度以降のアンケートでは使用した施設名も明らかにしておくことで、体育・文化施設それぞれの傾向を把握できる。

■ 今回の利用形態 ※左：王寺町、右：その他 6 市町



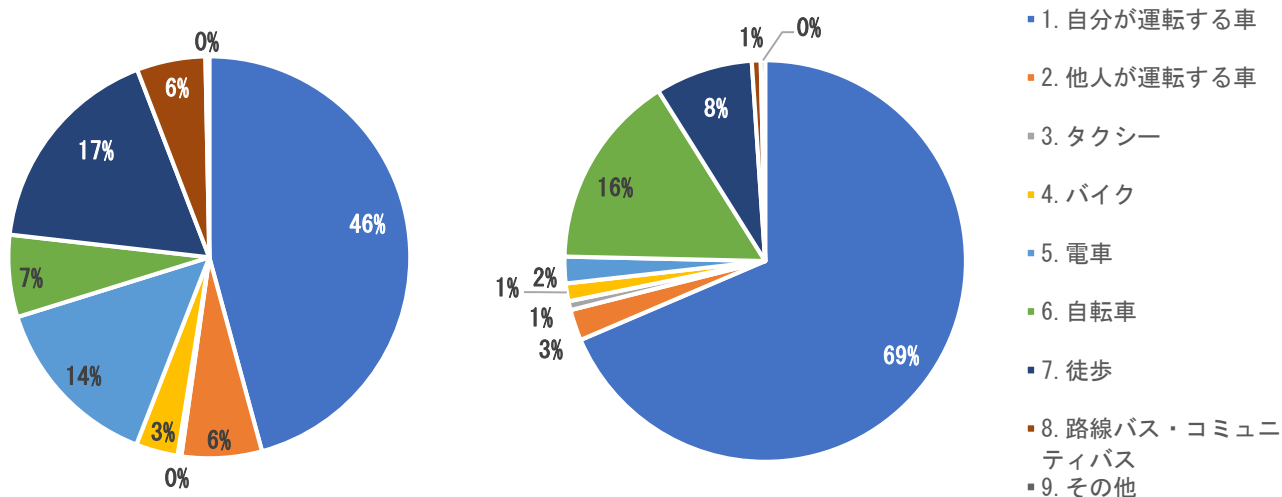
利用形態の特徴は、各市町の登録団体の割合と個人利用の割合である。年代の設問と同様に、個人利用の傾向が強いのは、体育施設に影響されている可能性がある。また、「個人利用」の再定義を行う必要があるかもしれない。現状は登録団体ではなく、個人申請者で利用人数 10 人の場合は「個人利用」となっている。例えば個人利用の規模が 10 人未満であることが多いのにも関わらず、体育館では全面貸ししかしていない施設があったとしたら、面積効率が低い。今後の詳細分析のために再考する必要がある。

■ 在住している自治体 ※左：王寺町、右：その他 6 市町



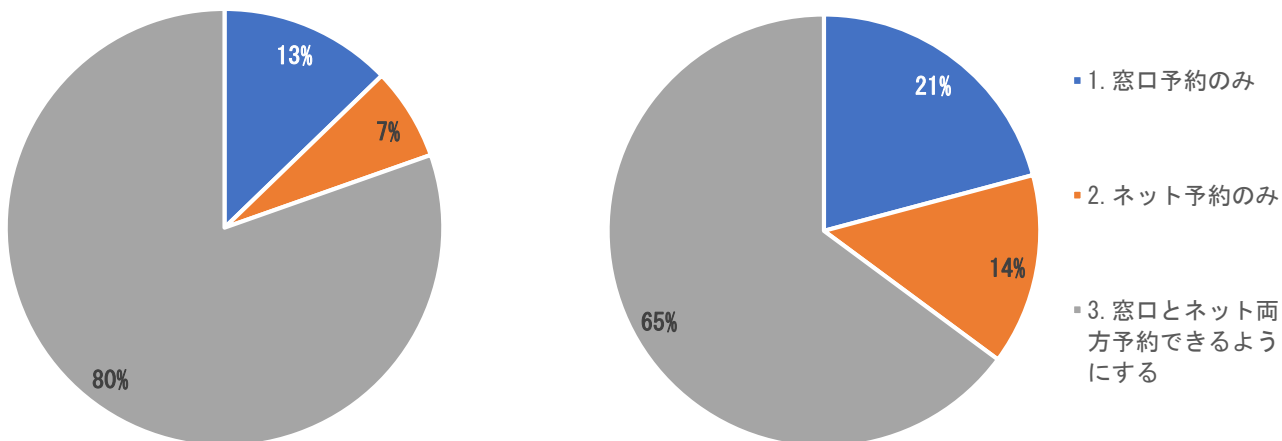
その他 6 市町 229 件の回答の内訳は大和高田市 33 件、香芝市 58 件、葛城市 63 件、上牧町 47 件、広陵町 13 件、河合町 15 件である。アンケートを受け取った自治体と在住している自治体の回答によるクロス集計は次項で行うが、王寺町の内訳はその他の回答、つまり 6 市町以外による利用者が多いことが分かる。多くは奈良県北部地域や大阪府からの利用者が目立つ。北部地域からは鉄道を中心としたアクセスの良さが考えられる。

■主な移動手段 ※左：王寺町、右：その他6市町



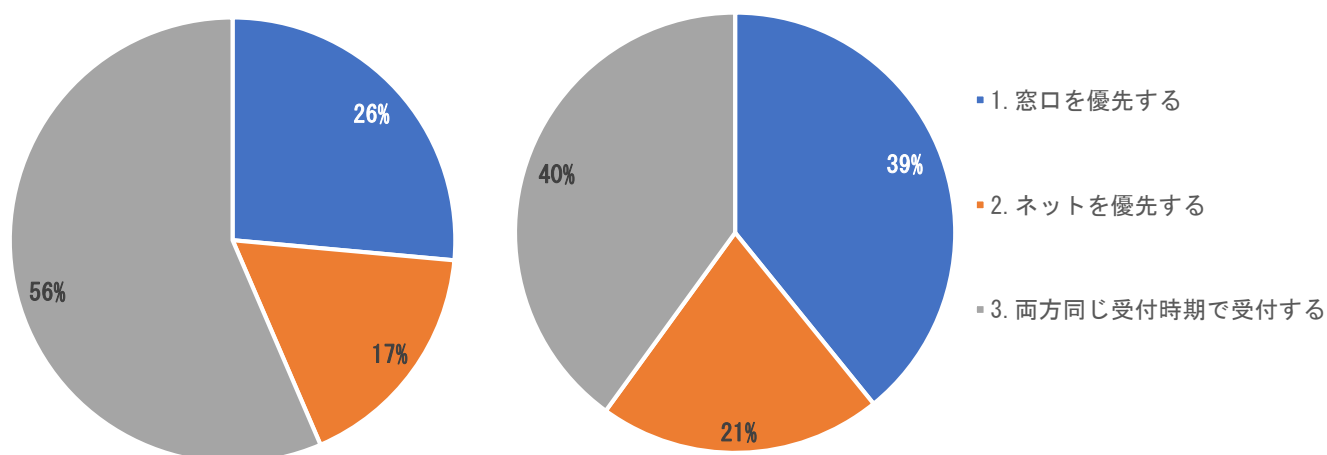
比較すると、6市町は車を移動手段としていることが多いが、王寺町は電車と徒歩が多い。施設の立地条件による違いであるが、この設問についてもアンケートを受け取った施設名を把握することで、今後施設別の傾向が確認できる。なお、令和2年度事業のアンケート結果では各施設で移動手段を問う設問があり、大きく傾向は変わらないと考えられる。

■施設予約のあり方 ※左：王寺町、右：その他6市町



既にe古都ならでの予約が進んでいる王寺町とその他6市町の傾向があると考えられる。e古都ならを実証実験にて導入し始めた施設が多い6市町では、王寺町に比べてネット予約のみの割合が高い。王寺町では現在の形式である窓口とネット両方予約ができる割合が高い。実際にネット予約を運用し始めると王寺町の傾向に近づくと考えられ、利用者も利便性が上がるネット予約の導入が求めていると思われる。

■施設予約の方法 ※左：王寺町、右：その他6市町

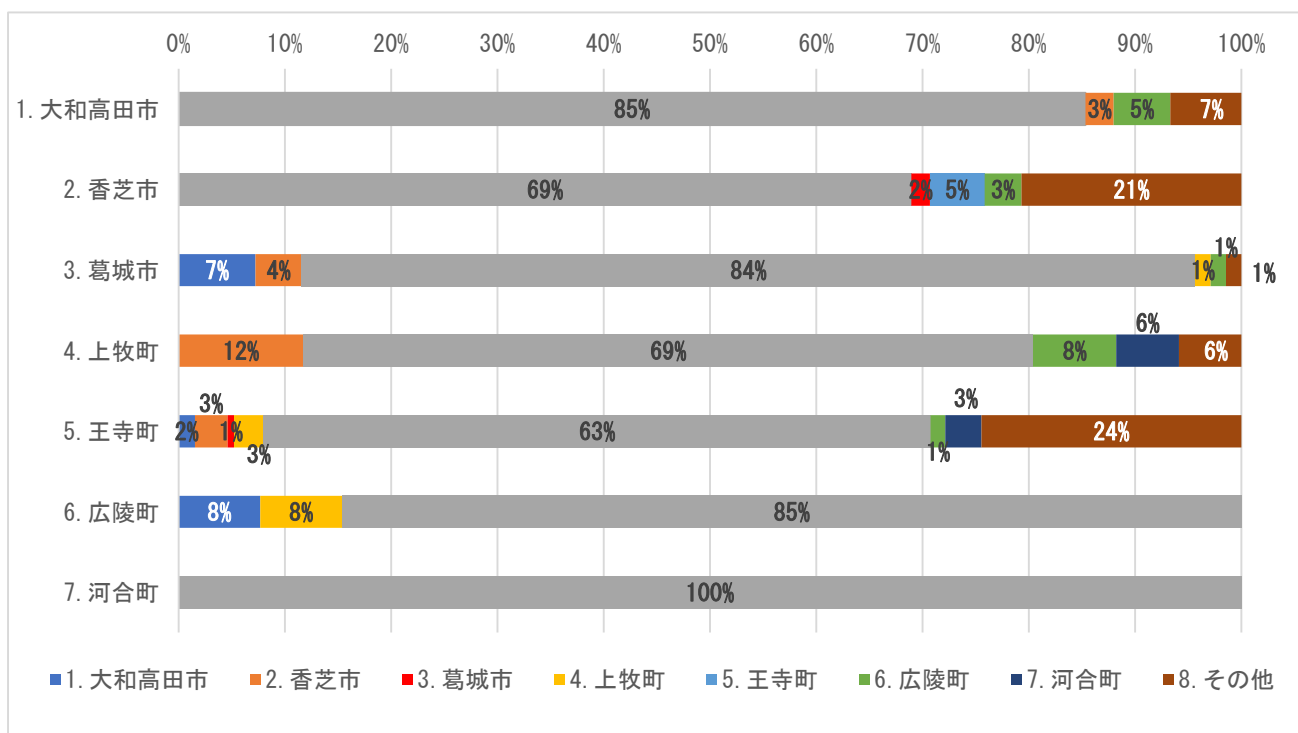


前設問と関連して、実証実験にてe 古都ならを試験的に導入した6市町では窓口を優先するという回答割合が王寺町よりも高い結果となった。ネット予約が主になっていない現状では、ネットを優先する予約方法を取ることは難しいと考えられるが、次の実証実験では一定の期間毎もしくはある特定の施設で優先度を変更して運用してみるなど、将来の本格運用に向けて試行していくことは検討の一つとしても必要である。

(3) 【クロス集計結果】

利用実績データの施設利用申請数、利用件数からは判断できない利用者個々人による相互利用の実態を把握するために、クロス集計を実施した。結果の一部を以下に示す。

【アンケートを受け取った自治体】 × 【在住している自治体】



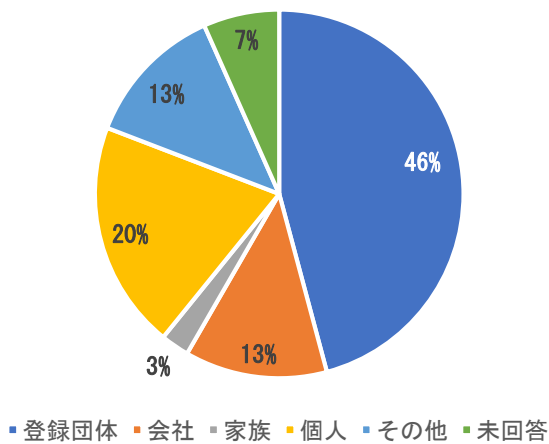
アンケートを受け取った自治体と在住自治体が異なるということは、他市町の施設を利用（相互利用）していることとなる。各市町の状況を見ると、その他を除いた7市町在住住民による広域利用は10～20%前後の割合である。7市町全体での相互利用の割合は12.6%であった。

令和2年度に実施した「新たな広域連携促進事業」内で実施した体育施設及び文化施設利用者に対するアンケート調査結果を同様に整理すると、7市町在住住民による広域利用の割合は13.8%であった。令和2年度時点の正式な相互利用が開始されていなかった時期と比較してもほとんど同様の割合である。3章での過去利用データと実証実験後の実績データでは比較できなかったが、アンケート調査による定量的な整理によると、正式に可能となった相互利用の実証実験は6か月経過時点では相互利用を促進するという観点からはまだ成果が乏しいと解釈できると考える。

【広域利用】×【利用形態】

広域利用をしている利用者がどのような利用形態で施設を使っているかを確認する。上記で広域利用と判断したデータ数は120件、内利用形態の内訳は「各市町の登録団体として利用55件：46%」「会社・事業所として利用15件：13%」「家族で利用3件：3%」「個人で利用24件：20%」「その他15件：13%」「未回答8件：7%」

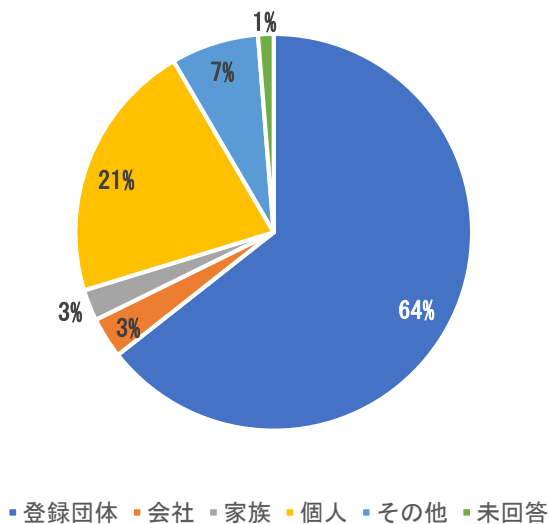
※今回は7市町以外の市町村在住の方の回答は参照していない。



【通常利用】×【利用形態】

従来のように、自身の在住自治体内の施設の利用者がどのような利用形態であるかを確認する。通常利用と判断したデータ数は631件、内利用形態の内訳は「各市町の登録団体として利用405件：64%」「会社・事業所として利用21件：3%」「家族で利用16件：3%」「個人で利用134件：21%」「その他45件：7%」「未回答8件：1%」

※今回は7市町以外の市町村在住の方の回答は参照していない。



申請による相互利用と利用実態としての相互利用の割合は大きく異なる。登録団体の一員として利用している方は施設利用の機会が多いことから、自らも申請者（代表者）として個人利用や各任意団体として利用する機会も多いと考えられる。今後相互利用をさらに広げるために各登録団体への直接的な広報活動は効果的である。

5. 今後の運営体制等の具体的プランの検討

1章で示した相互利用と共同設置・管理の関係性と4章までにまとめた過去の施設管理データ、10月1日から開始された相互利用の実証実験実績及びアンケート結果から今後の運営体制や実施していく事柄について検討する。

(1) 【データの分析・収集】

データ収集については、各施設でデータ粒度のばらつきを少なくするために、e 古都ならを台帳として活用することを積極的に考えたい。また、令和5年3月31日で一度目の実証実験は終了するが、令和5年度中に2度目の実証実験実施となった場合の再開までの空白の期間についてもデータ収集を継続することが望ましい。これは1年間で月別の利用増減の傾向を把握したり、正式な相互利用可能という期間ではないときの相互利用の実態を観測したりするためである。データ収集について、e 古都ならを活用せずに各施設の様式で行う場合であっても項目は統一したい。以下に今年度実証実験の中で収集したデータ項目を示す。

■利用実績について

- ・利用日
- ・利用に対する予約申請日
- ・利用コマ数
- ・利用範囲（全面、半面）
- ・利用人数
- ・個人団体区分
- ・利用者住所

■予約申請について

- ・予約申請日
- ・利用予定日
- ・申請者住所
- ・予約コマ数
- ・個人団体区分
- ・受付メディア（窓口、電話、e 古都なら）
- ・予約範囲（全面、半面）
- ・利用予定人数

上記項目はe 古都ならに予約申請情報及び利用実績情報を入力すれば、全てファイル形式で出力可能であり、省力化が可能である。加えて、利用目的を追加項目として提案したい。今後相互利用が広がり、施設ごとの活動傾向を探ることができれば、将来的にある施設では特定の活動の設備を充実させるなどの施策が実現する可能性がある。e 古都ならを活用している施設では、すでに予約申請時に入力されているので、「利用目的別人数統計出力」の項目から自動出力が可能である。

また、予約申請時に収集した利用人数とは別に利用人数実績値を収集したい。特にe 古都ならを活用している施設については「実績登録」をしない限り、出力される帳票に記録されている人数は予約申請時の人数である。「実績登録」は、実際に利用した実績を登録する作業である。今回収集した帳票を見ると、申請時には100人や50人で一時入力されていることも多く、実際の利用人数と大きく乖離している可能性もある。そこで利用日当日に窓口へ利用室の鍵の返却の際などに、利用人数を聞いて「実績登録」することでより詳細な実態を把握することができる。これはe 古都ならを使用せず、独自台帳で管理している施設についてもぜひ検討していきたい。

また、下記で述べるホームページやSNSを活用した広報活動についても記録しておきたい。メディアや配信方法によるが、ページビュー数やユーザーへのリーチ数などが把握できるため、これらを各月で測定することで重回帰分析時の説明変数の一つとして活用が可能である。

データ分析については、相互利用の実証実験から本格運用への移行も視野に入れて、各市町担当で整理可能なように、できる限り省力化して実施することを目指したい。これを考慮し、相互利用の割合や稼働率、加えて今後追加する目的別利用割合の整理程度が最低限ラインだと考える。また、第3章で示した利用コマ数から算出される稼働率については、e 古都ならの「利用状況出力」からも自動算出が可能である。※ただし、第3章で示した結果は異なった計算方法としている。

(2) 【相互利用の周知・広報活動】

令和3年10月から開始された相互利用実証実験では、各市町のホームページや広報紙、施設窓口へのポスター掲示等が周知方法として採用された。第4章のアンケート結果からも、実証実験を知ったきっかけとしては、ホームページ・広報紙・施設窓口で知ったという方が8割強である。そのため、次の実証実験開始までに、再度これらの媒体を使って広報活動を行うことは有効であると思われる。一方で今後の周知媒体のあり方を問う設問では、LINEやInstagramをはじめとしたSNSでの広報を希望する回答も3割程度存在する。相互利用が可能になることにより、今まで施設を利用していなかった潜在的利用者、特に若い世代への訴求効果としてSNSの活用は大いに期待できると思われる。LINE公式アカウントは全市町所有しており、その他TwitterやInstagram等については各市町の状況により、担当部局と連携して活用していくことが良いと考える。なお、既に今年度相互利用実証実験を行ったことから、既存利用者については周知が広がりつつあると考えられる。

(3) 【アンケート調査】

今年度実施したアンケートには、相互利用を周知させるという広報的な役割も担ってきた。また、今回の実証実験期間での回答数で、今後大きな変動はないと思われる項目もいくつか存在するため、項目の一部入替えを行って次年度以降の実証実験期間に再度実施することも視野に入りたい。入替えの項目としては、相互利用本格運用時の料金設定や予約優先度、第1章で挙げた今後の広域連携の目指すべき到達点や将来の共同設置等に関する設問など、実証実験のその先を見据えたものとするのが一例として考えられる。しかし、共同設置等の設問については施設縮小を考えているのではないかと読み取る利用者も少なくないと思われるため、表現方法には注意が必要である。いずれにしても、相互利用の実証実験から本格運用、さらにはその先まで見通したビジョンの共有・公開が前提にあるべきと考える。

(4) 【e 古都ならの活用】

奈良県の状況として、e 古都ならとは別のシステムが導入される予定もあるようだが、現場対応として予約システム自体に順応しておくことは重要である。仮に別システムに変更されるとしても、現システムを中心とした予約管理に慣れてしまえば、窓口業務負担は大きく減少することに加え、ある程度のシステムの取扱いノウハウが蓄積されるため、次のシステムへの移行も容易になると考えられる。

また、(1)で示したe 古都ならを管理台帳として使用するだけでなく、本格運用を見据えて登録者数増加も目指したい。アンケート回答から、利用者登録機能や本予約機能が実装されていないと使いづらいとの声があるが、本予約機能については王寺町のように施設の運営方針次第では対応可能である。実証実験の意義はこのような事項を試行する機会があることだと思われるため、次回実証実験では本予約機能を導入することも視野に検討されたい。また、利用者登録や事前決済機能など現状ではすぐに対応できないものは次のシステム選定時の仕様案になるため、要望する機能のリストアップのためにもe 古都ならは積極的に活用されたい。

(5) 【利用料金や予約優先度の考え方】

第1章でも示したとおり、相互利用は本広域連携事業が目指す共同設置・管理への一過程に過ぎない。相互利用の中で自然淘汰的に、利用傾向を利用者に委ねるのであれば、本格運用時でも全施設の利用料金の統一などは不要であると考えられる。むしろ、現状の利用料金で金額が高い施設に利用が集まる可能性もあり、その要因を仮に「設備が充実しているから」や「距離が近いから」と明らかにできれば、共同設置時の大変重要な基礎資料にできる。ただし、市町外利用者も市町内料金とすることに関しては、

本格運用時には各施設の設置基準や条例改正が必要になることが予測されるため今後も議論を続けたい。従来とおり、市町外料金とするのであれば、相互利用割合の変化が起こった時に金銭的な事由は伴わないことになる。アンケート結果からは、「市町内料金が適用されるから」という理由で相互利用意向がある方の結果は9%程度であり、利用料金に大きくは左右されないということが読み取れるが、現段階で市町外料金のままで良いか断言はできない。

全国の事例を見ると、焼津市・藤枝市による志太地域の相互利用広域連携事業が特徴的である。この事業では志太広域事務組合を地域づくりのための事業を共同で行うことを目的として設立した一部事務組合により料金事務を担う。志太域内住民は市内在住者価格、域外住民は市外在住者価格となるが、域内住民は利用時に市外在住者料金で支払い、志太広域事務組合に差額料金の払戻し申請することで、市内在住者価格と同様の利用料金で利用できる仕組みである。この差額の財源は組合への人口割による積立金となっている。しかし、この平成23年度から開始された相互利用促進事業は令和3年度を以って終了となっていることから、7市町での費用負担の整理はさらにハードルが高くなると思われる。仮に今年度の実証実験のとおり市町内料金適用とした場合、市町外利用による利用料増収は期待できないが、共同設置・管理時の費用削減への先行投資という考え方もできるため、次年度以降利用料実績から試算することも視野に入れたい。

予約優先度に関しては、各市町各施設の考え方が色濃く反映される部分だが、今年度の実証実験で特に問題が起きていなかったと見て取れるので、次年度の実証実験では市町外利用者の予約開始時期を多少早めることは検討されたい。予約実績値や稼働率を見ても十分に予約受入は可能である。

(6) 【各市町の管理計画や整備計画との関係】

これまでも述べてきたとおり、7市町による広域連携の目標の一つとして施設の共同設置や管理が挙げられるが、当然各市町の各種計画との調整は必須になる。現在既に公表されているものでは葛城市當麻文化会館の複合化、大和高田市総合体育館の移設建替えの計画が進んでいる。この7市町広域検討会にて各市町の再整備等の制限はもちろんできるものではないが、対象施設の整備方針や計画には広域的視点を盛り込むことは望ましい。企画・構想段階の情報から7市町で共有していくことは、広域連携を将来的なビジョンに向かって推進するためには必要だと考えられるため、次年度以降の広域検討会議題に組込むことを検討されたい。

6. まとめ

今年度事業では相互利用実証実験の結果から、今後の広域連携推進のための考察を行った。半年間という期限付きの相互利用実証実験であったが、市町内料金適用による運用や市町域にとらわれない立地による施設選択が可能になることでの利用者の選択肢の広がりなど、利用者にとっての利便性向上の可能性と更なる相互利用の意向があることが確認できた。

一方で利用・管理の両面で課題も見えてきた。利用者側としては、各対象施設での予約手続き方法があるため分かりづらいこと、e 古都ならを使い始めるまでに手間がかかることなど、利用前段階で踏み止まってしまうステップがあることが明らかになった。管理側としては、従来と異なった運用方法への対応やデータ収集のための事務作業の負担増、現在は問題ないが市町外利用者が増加した場合の市町民利用者との利用・予約調整などが挙げられる。次年度以降は第 4 章までに整理した結果やこれらの成果・課題を活用して今後の展開を考えたい。

令和 2 年 3 月 25 日の中和・西和広域連携検討会立ち上げ前から様々な方向性を検討してきた中で、相互利用さらにはその先の施設共同管理・設置に関して方針が定まりつつある現在状況だと思われる。

これまで各市町で行ってきた体育・文化施設の運用を広域連携により進めていくことは、厳しい社会情勢の中で健全な自治体運営を行うために望ましいことであるが、同時に非常に長い時間が必要である。単年度の成果のみに縛られず、将来の時間軸を意識して推進していくことが重要であり、広域連携に限らない話であるが、実証実験の場は今後の EBPM（根拠に基づく政策立案）のために非常に重要な試行の場であると考えられる。

現在の一般的な EBPM はある政策や議論の効果を厳密に測定するためにデータやエビデンスで明らかにしていくという意味で示されることが多い。しかし、本事業の広域連携相互利用、共同設置や管理といった取組みを今後も継続したほうが効果的なのか、それとも別の目標や目的を設定することが良いのかは現段階では人間の主観的なレベルでしか説明できない。現在定められた目標に対する有効な手段を見つけるための EBPM、社会環境が急速に変化する中で限られた資源を有効に活用しながら最適な政策目標・目的を見つめるための EBPM という両輪が揃うことが重要である。そのどちらにも、その場限りのエピソードに頼らず明らかにしていくために精度が揃ったデータ収集が重要であるため、今年度の実証実験においてもデータの正確性を求められた。相互利用に限らず、今後もデータの収集に関しては意識されたい。

また、次年度の実証実験では対象施設の追加による検証も有効であると考えられる。さらには今後広域連携の取り組みを進めていく中で、施設設置基準や各種条例のハードルが予測される。従来の枠組みを変えていく必要が出てくるが、庁内部局間の水平連携に加えて首長や議会、住民からの理解協力が必要不可欠である。そのためにも、本広域連携のビジョン、目標、目的、手段をそれぞれのステークホルダーと共有・公開することが最も重要だと考える。

7. 参考資料

(1) アンケート用紙

公共施設の相互利用に関するアンケート(各市町名を記載)

現在、市町村連携の一環として、大和高田市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町及び河合町の体育施設及び文化施設の相互利用の実証実験を行っており、今後の利用者皆様のさらなる利便性向上のため、以下のアンケートにご協力をお願いします。 回答所要時間：約2分



QRコードからも回答ができます。

1. ご自身のことについてお尋ねします。

Q1-1 あなたの年代を教えてください。(いずれか一つにチェック)				
<input type="checkbox"/> 20歳代未満	<input type="checkbox"/> 20・30歳代	<input type="checkbox"/> 40・50歳代	<input type="checkbox"/> 60・70歳代	<input type="checkbox"/> 80歳代以上
Q1-2 今回の利用形態を教えてください(いずれか一つにチェック)				
<input type="checkbox"/> 各市町の登録団体として利用	<input type="checkbox"/> 会社・事業所として利用	<input type="checkbox"/> 家族で利用		
<input type="checkbox"/> 個人で利用	<input type="checkbox"/> その他()			
Q1-3 在住している自治体を教えてください。(いずれか一つにチェック)				
<input type="checkbox"/> 大和高田市	<input type="checkbox"/> 香芝市	<input type="checkbox"/> 葛城市	<input type="checkbox"/> 上牧町	
<input type="checkbox"/> 王寺町	<input type="checkbox"/> 広陵町	<input type="checkbox"/> 河合町	<input type="checkbox"/> その他()	
Q1-4 利用する施設への主な移動手段を教えてください。(いずれか一つにチェック)				
<input type="checkbox"/> 自分が運転する車	<input type="checkbox"/> 他人が運転する車	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> バイク	<input type="checkbox"/> 電車
<input type="checkbox"/> 自転車	<input type="checkbox"/> 徒歩	<input type="checkbox"/> 路線バス・コミュニティバス	<input type="checkbox"/> その他()	

2. 公共施設の相互利用についてお尋ねします。

Q2-1 今回実施している実証実験について知っていましたか。(いずれか一つにチェック)	
<input type="checkbox"/> 知っていた	<input type="checkbox"/> 知らなかった



Q2-2 何で知りましたか。(複数チェック可)
<input type="checkbox"/> 各自治体のホームページを見て知っていた
<input type="checkbox"/> 各自治体の広報誌を見て知っていた
<input type="checkbox"/> 新聞・ニュースを見て知っていた
<input type="checkbox"/> 各種 SNS を見て知っていた
<input type="checkbox"/> 各施設の窓口・チラシを見て知っていた
<input type="checkbox"/> その他()

3. 公共施設の相互利用の実証実験期間中(R4.10.1~R5.3.31)のご自身の市町以外の対象施設の利用についてお尋ねします。

Q3-1 公共施設の相互利用の実証実験中の自身の市町以外の対象施設の利用について教えてください。(いずれか一つにチェック)	
<input type="checkbox"/> 利用した・利用したい	<input type="checkbox"/> 利用する予定はない



Q3-2 理由をお聞かせください。(複数チェック可)
<input type="checkbox"/> 利用したい施設があるから



Q3-2 理由をお聞かせください。(複数チェック可)
<input type="checkbox"/> 現在利用している施設で十分だから

<input type="checkbox"/> 現在利用している施設の予約が取りづらいから <input type="checkbox"/> 施設利用料が市（町）内料金適用となるから <input type="checkbox"/> 利用者の選択肢が増えるから <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）	<input type="checkbox"/> 利用したい施設の予約が既に埋まっているから <input type="checkbox"/> 予約の手続きがややこしいから <input type="checkbox"/> 市（町）外への交通手段確保が難しいから <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）
--	--

4. 公共施設の広域での相互利用を促進していくために必要なことについてお尋ねします。

Q4-1 今後、あなたが必要だと思う周知媒体について、該当する項目に全てチェックしてください。

<input type="checkbox"/> 広報誌	<input type="checkbox"/> 自治体 ホームページ	<input type="checkbox"/> Facebook	<input type="checkbox"/> LINE	<input type="checkbox"/> Instagram	<input type="checkbox"/> その他 (_____)
------------------------------	--	-----------------------------------	-------------------------------	------------------------------------	---

Q4-2 今後、あなたが必要だと思う施設予約のあり方について、該当する項目一つにチェックしてください。

<input type="checkbox"/> 窓口予約のみ	<input type="checkbox"/> ネット予約のみ	<input type="checkbox"/> 窓口とネット両方予約できる <small>04-4へお進みください</small>
---------------------------------	----------------------------------	---

Q4-3 今後、あなたが必要だと思う施設予約の方法について、該当する項目一つにチェックしてください。
※現在実施している実証実験では、窓口での受け付けを優先しており、受付を開始する期間が窓口の方が早く予約できるようになっている施設があります。

<input type="checkbox"/> 窓口を優先する <small>04-5へお進みください</small>	<input type="checkbox"/> ネットを優先する	<input type="checkbox"/> 両方同じ受付開始時期で受付する
---	-----------------------------------	--



Q4-4 今後、あなたが希望するネットでの施設予約に関連する機能について、該当する項目に全てチェックしてください。

<input type="checkbox"/> 利用者登録ができる機能	<input type="checkbox"/> 施設の本予約ができる機能	<input type="checkbox"/> 事前決済ができる機能	<input type="checkbox"/> その他 (_____)
--------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------	---

Q4-5 今後、あなたが希望する施設利用料の支払い方法について、該当する項目に全てチェックしてください。

<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> PayPayなどの スマホ決済	<input type="checkbox"/> クレジットカード決済	<input type="checkbox"/> 交通系 IC カード決済	<input type="checkbox"/> その他 (_____)
-----------------------------	---	-------------------------------------	---------------------------------------	---

Q4-6 その他、公共施設の相互利用を促進するために必要だと思う項目全てにチェックしてください。

<input type="checkbox"/> ホームページ等の施設情報（予約方法・利用料金等）のわかりやすさ <input type="checkbox"/> 施設予約から利用まで事務手続きの簡素化 <input type="checkbox"/> 利用料金の市（町）内・市（町）外条件の共通化 <input type="checkbox"/> 予約方法の市（町）内・市（町）外条件の共通化	<input type="checkbox"/> 運営時間の市（町）内・市（町）外条件の共通化 <input type="checkbox"/> 対象施設を増やす（施設名 _____ ） <input type="checkbox"/> 対象自治体を増やす（自治体名 _____ ） <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）
--	--

5. その他

Q5 その他、ご意見ご要望などございましたら自由にお書きください。

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(2) アンケート自由記述一覧

電気が薄暗い
体育館がぼろすぎる
私はなかなかついていけないのですが、ネットで予約等は今後はいいんでしょうねと思います。
長年利用させていただいております(20年以上)。大変満足して使用させていただき感謝しております。1つ希望があるのは椅子があまりにも汚れていますので徐々に張り替えていただけると気持ちよく利用できます。よろしく願います。
今のままでも十分通いやすく又、親切に対応していただいているがネット予約ができるならカレンダー等を見ながら予約ができるので便利と思います。又、書類などを持ち込んだものを提出できると簡単で良いかなと考えます。支払は窓口の方が安心です。
いつもありがとうございます。
この公共施設の相互利用は大変ありがたいと思います。
葛城市の方は体育館の利用が無料と聞いています。高田市は予約も難しく有料なので葛城市が羨ましいです。どこの市町も体育館の予約が難しいのである程度の利用回数を決めてほしいです。
体育館は予約が困難なので回数制限などを設けてください。
葛城市民としては市民優先の無料の方がありがたいです。
体育館利用は70代前後の人も多数いられると思います。免許返納等が進み、高齢者は出にくくなり、行動が狭まるのではないのでしょうか。循環バスは使い勝手が悪く無理だと思われれます。使用者がいなくても走行しているバスを1台体育館用にできないのでしょうか。
80歳を過ぎてもスポーツができることの喜びを感じています。葛城市の体育館をもっともっと利用したいです。特にありませんが葛城市の市民を最優先で予約ができるようにしてほしいです。
葛城市の人を優先でお願いしたいです。
葛城市民を優先してほしいです。
市民の利用を優先してほしいです。
市民としては無料で利用させてもらえるのはありがたいですが、有料にしたほうが市としては収入も増えるのではないのでしょうか。マルベリーは市民でも有料なのに体育館が無料では矛盾してますね。
体育館は市民だけの利用なら無料と聞いていますが本当に全員が市民という確認を取られているのでしょうか。グラウンドなどはナイター料が必要なのに体育館が無料なのはおかしいと思います。
葛城市の人が優先してほしいです。市外の方は必ず有料で利用してもらってほしいです。
自分の市は人口も多いのでなかなか体育館の予約ができませんので他の市の施設を利用できればありがたいです。
市内無料のままがいい。いずれは施設利用料を払わなくてはならないと思う。他市は有料のところがある。
コロナでこれまで使っていた文化施設が使えなくなり、文化団体は苦勞しています。他町へ行っても同様に解決しません。音楽の催しができる小ホールを増やしてください。
健康維持の為公平に使用したい。
駐車場の確保(現在の確保台数でたらない)
駐車場がせまくて困ります
使用料を下げてください。
お金が高すぎる。駐車場が狭すぎる。人によるが係員の対応が悪すぎる人がいる。
利用料金をもっと安くしないとスポーツ振興にならないと思う。窓口をもっと広くするべき。利用料金も値上げするなんてスポーツするなみたいと思う。行政でできることを考えてほしい。
上牧第二駐車場がせまい
団体でも利用させていただいておりますが、個人的(友人達)にも利用させていただいております。とてもありがたく思っています。
ネット予約希望です
テニスコートを利用していますが、ハードコートは貴重です。ぜひ維持してください。
在住者最優先での相互利用が、大前提だと考えます。
広陵町以外の公共施設についての情報がない状態で詳しくは判断できませんが、ホールなどはこれから手を掛ける状態であればすでにあるホールで相互利用で使用できればと思います。
北体育館設備をよりよくしていただけたらより気持ちよく利用できますし。していただけると思いますのでよろしく願います。

河合町北体育館リフォームありがとうございます。利用時、必要な場所は掃除していますが掃除用具もないため困ることがあります。網戸の設置をしていただければ虫の多い季節でも安心して使用できると思います。1年に1度でもいいのでトイレなど掃除が難しい場所は事業所さんに入って頂く方がより安心で良い施設になるかと思えます。
料金設定を1時間単位で細かく設定していただきたい。
設備登録の一本化は難しいと思いますが、地域格差を無くす為にも、自治体で取り組んで頂きたいです。費用面や設備投資はクラウドファンディングなど取り入れて早期実現を希望します。
綺麗な施設でありがたいです。
特にないです
利用料金を安く。 冷暖房料金、特に冷房料金が低い。 夏場、強制に冷房をする場合 施設側負担で全体冷房にして欲しい。
和室を利用しています。机が重くて移動するのに大変です。最後必ず机を出して元の様に並べて下さいとの指示 毎回大変です。人数も少なく高齢者です。 和室の障子最初の内に少し破れています。そのまま一つと破れたままなのが気になります。 点検はされているのかなあ？と すみません、要らんことばかりで
冷房代や施設使用料金を安くしてほしいです よろしくをお願いします
施設の利用率や、冷暖房の施設を安くしてほしい。値段が高くて冷房を我慢する団体もあります。熱中症の心配もあると思います。
利用料金を安くしてほしい
利便性が高まるように、時代に合った形に。窓口の対応がいつも横柄です。言葉遣いなど直すべきだと思います。このようなネット利用についてとか支払とかアンケートを取る意味がない。さっさとやってください。
怪しい団体には利用させない。
施設の職員の対応が良い。
人々の交流が盛となる。文化・教育が育つ。他市町村の考え方を理解する。
エアコン代など金額をもう少し安くしていただきたい。
公共施設の相互利用は良いと思います。ただ地元の人を優先でお願いしたいです。
出来るだけ共通化で。
各市町の相互利用できる施設の周知を繰り返してほしい。
駐車場の割引や無料化
尋ねていることが理解できない
予約等、町公認の利用は年間スケジュールにより予め登録できるようにする。
他市町村からの利用勧誘をする。王寺自治体の使用料金より高くすること。
現在小会議室(1)を利用させていただいています。3年間快適に使用してきましたが、予約が難しくなっています。3名利用で使用料を分担することで選択肢が(1)しかなく他の利用者と重なることが多く残念です。予約方法、窓口についてはいつも丁寧に対応していただきましてありがとうございます。
現在王寺町ですが、他の地域に行くための交通手段も考えないとと思います。料金と、。
決まっています町が認めた団体は優先して年間利用できるようにしてほしい(毎回申し込むのではなく)
年間スケジュールが決まっているコースは優先的に利用できるようにしてほしい。
パソコン教室で利用しています。予約を取るのがすごく大変です。年間日程が決まっているので全部予約入れてください。
年間使用する団体については1回の申請で4月～3月まで使用できるようにしていただきたい。交流センターはネットのみだが窓口申請も復活していただきたい。
年間予約できるようにしてほしい。
1年分のスケジュールが決まっている町公認の教室等は優先してほしい。
私は現在、パソコン教室の役員をさせていただいているのですが、1ヶ月に2日、教室を取るのが大変ですので、年間で取れるようになると助かります。
町が承認している教室・クラブなどについては年間予約など優先的にできるようにしてもらえるとありがたいと思います。

講師依頼を町から受けてパン教室のために来ています。荷物をもつての講習会になりますので、又時間も長く西友の駐車場の料金を半額又は無料となるよう各町のご配慮をお願いします。
王寺町パン教室でここにきています。講師のお手伝いです。車が必要なため駐車場代の補助をお願いします。
教室の取り方で会館の都合の悪い場合は早く連絡が欲しい。
王寺町でパン教室を助手しているが毎回荷物を運ぶのに駐車料金がなくて困っている。法隆寺の斑鳩町でもやっているが駐車料金タダ荷物があるので1番近い場所を無料であけてくれている。
ご苦労様です。
ぜひとも取り組むべき課題だが、住民の方々の理解を得るための努力をしっかりとすべき。
それぞれのニーズが違うところも多いですが、すべてを一律化する必要はないと思う。ニーズに合わせて利用者が使い分ければ良いと思うが、簡素化は必要と思います。
予約から料金の支払いまで、全ての市町村で同じシステムを使い統一されているととても利用しやすいです。
全体的にもっと安くしてほしい。特に和室使用しにくいのに高く思う。
使用料、冷暖房費が高い。特に冷房費の30分500円はもう少し安くしてほしい。
他の教室が取れないときは和室の金額を下げてください。
予約日時が重なって部屋が取りにくい。
料金が高いと思います。
使用料金が高額すぎます。モップを綺麗にしてほしい。高齢者にも利用しやすい施設に。当日も利用できる対応してほしいです。体育館の北側の非常口の外で喫煙している方がいて体育館の中に煙が入ってきます。風向きによりかなり臭ってきます。
利用料金が高額すぎます。(一般利用時など)モップが湿気でかけにくくなる。雨の日にモップをかけてみたらよくわかかと思う。掃除機が吸わない。新しくしてほしい。固まったほこりさえ吸わなくなっている。運営する側の思いもわかりますが利用する側の思いもわかってほしいです。年金生活者も多い高齢化していく日本でもっと高齢者にも使いやすい公共の施設になってほしいです。
施設を利用するに当たり料金がかかりすぎる。
代表の方をお願いして使わせていただいています。
使用料が高いです。もう少し安くしてほしいです。
元気な人だけでなく、年配たちにも配慮していただけたら大いに利用したい。配慮とは例えばマイクロバスの運行、エレベータの利用可能とか。
公共施設は基本住民は無料を目指してください。
運動できる施設が鏡付きでほしい。
現在小会議室1を使用させていただいて清峰会師範部など使用させていただいたらよろしいか。(上牧、高田、広陵町など)
耐震はどの程度大丈夫なのでしょう。問題があるのであれば早く着手されることを望みます。
・交通手段が少なすぎて利用しづらい・市町村の交流があれば楽しいのでは・登録しているクラブは優先してほしい・体育協会に入っていれば割引があるとか利用料で差別はやめてほしい・事務省略
町の文化活動にはもっと支援いただきたい
交通手段の問題がある。(免許のない人)
私は車がないので車利用できる人は考える余地あり。移動手段が問題。現地までバスの送り迎えがあることを考える余地あり。
公共施設は無料に
利便性、アクセスが良い。いつもありがとうございます。
駅に近いので便利!
王寺町近辺の施設は今回受講者として初めてなのであまりよくわかりませんが、奈良市の施設は予約、利用したことがあります。それでいくと前払いであることや予約取消時の手続きがややこしいと感じました。予約についてはやはり先着順ではなく、例えば(今がどうか知りませんが)1時間とか幅を持たせてその中から抽選などが公平かと思えます。
駐車料金が負担になる
生駒郡の近隣町村とも連携してほしい
暖房の入る時期を早めてください。とても寒いです。
仮予約がネットでできて本予約に窓口まで来るなら二度手間の意味がないように思う。

<p>施設予約について同じ場所(教室)で1年間の利用予定日が決定している場合は3ヶ月前に毎回予約するのではなく、6ヶ月又は1年に1回の予約で済むように希望します。現在は利用の3ヶ月前の日付が変わったと同時に予約しています。</p>
<p>ネットでの施設利用の申し込みを経験して3か月前に予約するのにととも気を使いました(半年間)。1年を通して利用日が決まっている団体に対しては半年に1回、1年に1回と利用予約にしてほしい。他の人がもしその間にどうしても利用したい日があれば施設を使えるようにしていただけたらと思います。</p>
<p>予約をさせてもらって大変だということがよくわかりました。</p>
<p>施設が他町にどれくらい、どこにあるのかわかっていないのでこのアンケートに答えにくかった。他町の方々とともに利用できるのはいいことで、交流を楽しみ励みになるでしょう。</p>
<p>窓口業務の利便性(対面式カウンターの設置等)</p>
<p>夏に子どもとプールへ行く際、友達と住所が違い同じプールいけなくて残念でした。</p>
<p>市外の人でも安く利用できるようお願いしたい。</p>
<p>今日東京からのリモートでの申込みでしたが、WEBが使えて大変助かりました。</p>